

プロジェクター活用ガイド



EB-1925W EB-1915



はじめに

無線LANユニット利用時のご注意	6
取り扱い・保管上のご注意	6
周波数に関するご注意	6
電波法による規制	6
国外へ持ち出すときのご注意	7
無線LAN使用時のセキュリティーに関する注意	7
無線LANユニットの仕様	7
接続可能な無線LANカードとアクセスポイントの条件	7
本ユニットの仕様	8

プロジェクターを活用する

プロジェクタ-を活用するための便利な機能	10
ネットワーク接続で多彩な画面・音声転送(EasyMP Network Projection)	10
遠隔からフロンエクターの監視・設定・制御	10
	10
USB 伝話に味得したファイルをそのよる投与(PC Fiee)USB ケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの画面を投写(USB	11
ディスプレー)	11
ソフトウェアのインストール	12
収録されているソフトウェア インストールの方法	12 12

EasyMP Network Projectionで接続する

EasyMP Network Projectionの概要	16
2 つの接続モードと主な機能	16
マニュアルモード	16
かんたんモード(オプションの無線LANユニット装着時のみ)	16
主な機能	16
マニュアルモード接続の流れ	17

接続の準備18
コンピューター側の準備18
Windowsの場合18
Macintoshの場合18
ネットワーク上のプロジェクターに接続して投写する
プロジェクター側の操作
プロジェクター側の操作
プロジェクター側の操作

EasyMP Network Projectionの便利な機能

PowerPointのスライドショーだけを投写する(プレゼンテー ションモード)	,
コンピューター内の動画ファイルを投写する(動画再生モード) 	,
再生できるファイルの仕様27 動画を再生する	,
マルチスクリーンディスプレー機能を使う)
仮想ディスプレーの配置例)
マルチスクリーンディスプレー機能を使用するまでの流れ)
仮想ディスプレーの設定31	
仮想ディスプレードライバーを有効にする(Windowsのみ)31	
仮想ディスプレーの配置31	
投写する映像を割り当てる35	j
割り当てた映像を投写する35	j



サブネットが異なるプロジェクターと接続したいとき
サブネットの異なるプロジェクターと接続するには
IPアドレスやプロジェクター名を指定して検索(マニュアルモー ドのみ)
プロファイルを使った検索40
プロファイルを作成する
プロファイルを指定して検索

プロファイルを管理する......42

EasyMP Network Projectionの動作を設定する

オプション設定の使い方	45
各項目の設定	45
一般設定タブ	45
パフォーマンス調整タブ	46
音声出力タブ	46

コンピューターを使ってプロジェクターの設定・監 視・制御をする

Webブラウザーを使って設定を変更する(Web制御)	49
Web制御を表示する	. 49
プロジェクターのIPアドレスを入力する	. 49
プロジェクターの設定	. 49
Webブラウザーで設定できない環境設定メニューの項目の項目	. 49
Webブラウザーでのみ設定できる項目	. 50
メール通知機能で異常を通知する	51
SNMPを使って管理する	52

PC Freeを使ったプレゼンテーション

PC Freeで投写できるファイルと保存の方法	54
PC Freeで投写できるファイルの仕様	. 54
円生できる期間ナータ PC Freeの利田例	. 54
	. 55
コンヒューターを持ち込まずにPowerPointファイルのスフィトショーを投 写	. 55
PC Freeの基本操作	56
PC Freeの起動と終了	. 56
PC Freeの起動方法	. 56
PC Freeの終了力法 PC Freeの利用木場作	. 57 57
画像を回転する	. 58
シナリオの投写	59
シナリオの準備・編集	. 59
SITファイルを簡易編集する	. 59
シナリオの冉生	. 60 . 60
画像・動画ファイルの投写	61
動画・画像を投写する	. 61
フォルダー内のすべての画像・動画ファイルを順番に投写する(スライド ショー)	. 62
ファイルの表示条件とスライドショーの動作を設定する	63

シナリオの準備(EasyMP Slide Converterの使い方)

シナリオの概要	65
PowerPointファイルをシナリオに変換する	66
変換可能な PowerPoint ファイル	66

を換り能なPOwerPointノアイル	,
シナリオ変換の流れ66	;



メイン画面の説明
シナリオに変換する6
PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する7

付録

接続時の制限事項	73
対応解像度	73
表示色	73
接続台数	73
その他	73
Windows Vista使用時	74
Windows フォト ギャラリー投写時の制限	74
Windows Aeroの制限	74
電子証明書をプロジェクターに登録する	75
クライアント証明書を登録する	75
CA証明書を登録する	76
困ったときに	77
ネットワーク機能に関するトラブル	78
EasyMP Network Projectionと接続できない	78
EasyMP Network Projectionで接続して、映像が投写されたままになって他のコンピューターから接続できない	78
EasyMP Network Projectionを起動してもプロジェクターが見つからない	
	78
マニュアルモードまたは有線LANで接続できない	80
マルチスクリーンディスプレー機能実行時に、任意のディスプレーへスラ イドショーの表示ができない	80
マルチスクリーンディスプレー機能実行時に、コンピューターの画面上か	
らアプリケーションが表示されなくなってしまう	80
マウスカーソルがコンピューターの画面上に表示されない	81
EasyMP Network Projectionで接続して映像が表示されない、表示が遅	01
vi、 判凹の広隊 ビロガエよる	01
EasyMP Network Projectionで接続して使用しているとキにPowerDaintのフ	01
ライドショーが動作しない	82

EasyMP Network Projectionで接続してOfficeアプリケーション使用時に画 面が更新されない	82
EasyMP Network Projection実行時のエラーメッセージジ	82
EasyMP Network Projection でコンピューターとの接続を切断した後、ネッ トワークの設定が回復しない	84
PC Freeに関するトラブル	85
PC Freeでファイルを再生・表示できない	85
EasyMP Slide Converterに関するトラブル	85
EasyMP Slide Converter実行時のエラーメッセージシーン	85
PowerPointファイルの右クリックメニューに「FSEへ変換する」が表示さ れない	86
監視・制御に関するトラブル	86
プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない	86
用語解説	87
一般のご注意	88
商標について	88
索引	89



はじめに

オプションの無線LANユニットをご利用する際は、まずこちらをお読みください。



オプションの無線LANユニットをプロジェクターに装着してご使用する際は、以下の点に注意してください。

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が 使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解 いただいた上で本文をお読みください。

▲ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人 が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人 が傷害を負う可能性が想定される内容および物的 損害のみの発生が想定される内容を示していま す。

<u> 警告</u>

- 心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認した上で、お使いください。
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。お使いの前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認した上で、お使いください。
- 飛行機での使用は国によって制限される場合があります。お使いの前に、 制限がないかを十分確認した上で、お使いください。



 本ユニットはエプソン製プロジェクター専用です。コンピューターなどに 装着すると、コンピューターの故障や破損、誤動作の原因となります。
 本ユニットを分解・改造しないでください。やけどの原因となります。

取り扱い・保管上のご注意

- 高温・多湿になるところに、放置しないでください。特に窓を閉め 切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くな る場所に長時間放置すると故障や変形の原因となります
- •水に濡らさないでください。故障の原因になります。
- •電子レンジの近くで使用しないでください。電子レンジから発生され る電磁妨害により、正しく無線通信できなくなります。
- 落としたり、衝撃を加えたり、重たいものを上に載せないでください。

周波数に関するご注意

本ユニットの使用周波数帯は、2.4GHz帯/5GHz帯です。この周波数帯 では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)およ び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。本ユ ニットを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小 電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本ユ ニットから移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生し た場合には、速やかに使用をやめ電波の発生を停止してください。その 他、本ユニットから移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉 の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、インフォ メーションセンターにお問い合わせください。

電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

• 改造および分解の禁止(アンテナ部分を含む)

- 適合証明ラベルの剥離
- IEEE 802.11 a (5GHz帯)の屋外使用

国外へ持ち出すときのご注意

無線機器は、使用する国によりチャンネル番号や使用周波数に制限があ ります。本ユニットは販売国の仕様に基づき製造されています。本ユ ニットを販売国以外で使用する場合は最寄りのサポート窓口で確認をし てください。

無線LAN使用時のセキュリティーに関する注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報 のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能 であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障 害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する 設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性がありま す。

• 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレ ジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見 られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセス し、次の行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応 するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品 のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問 題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わな いで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責 任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することを お奨めします。

セキュリティーの設定については、プロジェクターに同梱の 『Document CD-ROM』に収録されている『取扱説明書』をご覧ください

無線LANユニットの仕様

接続可能な無線LANカードとアクセスポイントの条件

本ユニットは、IEEE802.11g、802.11bおよび802.11aに準拠した以下の 製品と接続できます。

- 無線LANカード
- 無線LAN機能内蔵コンピューター
- アクセスポイント

TOP

ただし、IEEE802.11gではコンピューターで使用する無線LAN機器に よって、アドホック接続できないことがあります。詳しくは各無線LAN 機器の仕様をご確認ください

本ユニットの仕様

使用周波数帯域 ^{※1}	IEEE802.11b/g : 2.4GHz帯(1~11Ch)、 IEEE802.11a : 5.15~5.25GHz(W52)、5.25~ 5.35GHz(W53) ^{※2}
変調方式	IEEE 802.11b :DS-SS方式 IEEE 802.11a/g :OFDM方式
想定干渉距離	20m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯 域を回避可能

**1 中華人民共和国、ロシア連邦ではIEEE802.11aは使用できません。 **2 W53の帯域ではマニュアルモードでの接続に限りご利用できます。 8



プロジェクターを活用する

ここでは、プロジェクターをもっと便利に活用するための機能のご案内をしています。

本機では、もっと便利にプロジェクターを活用する機能が備わっていま す。コンピューターケーブルでの接続以外に、USBケーブルやUSBメモ リー、LAN接続など多彩なインターフェイスを選べますので、使用環境 によって自由に映像入力ソースを決められます。

ネットワーク接続で多彩な画面・音声転送 (EasyMP Network Projection)

プロジェクターをネットワークに接続すると、効率的に会議やプレゼン テーションが行えます。



円滑な進行

プロジェクターをネットワークに接続すれば、ネットワーク上のコン ピューターから共用できます。会議やプレゼンテーション時に各自のコ ンピューターから資料を投写する際も映像ケーブルをつなぎ替えること なく円滑に進行できます。

プロジェクターとコンピューターの距離が離れていても大丈夫です。

多彩な画面・音声転送機能

- 分配機能 p.16
- •切り替え機能 🖝 p.16
- マルチスクリーンディスプレー ☞ p.29
- 動画再生モード p.27
- プレゼンテーションモード ☞ p.26

遠隔からプロジェクターの監視・設定・制御

各会議室のプロジェクターを一括して管理するのに便利な以下の機能を 用意しています。

- 異常時にメールでお知らせ
 ・ p.51
- ネットワーク上のSNMP Managerからの監視、異常状態検出

 p.52
- コンピューターに標準搭載のWebブラウザーを使って、プロジェク ターを設定・制御 ● p.49

Windows Vistaの「ネットワークプロジェクタ」機能 でコンピューターの画面を投写する

Windows Vistaに標準搭載の「ネットワークプロジェクタ」機能でネット ワークを介してプロジェクターとコンピューターを接続して投写できま す。特別なソフトウェアをインストールしなくてもOSの機能だけでネッ トワークを使ったプレゼンテーションが行えます。 ● 『取扱説明書』 「ネットワークプロジェクタについて(EB-1925W/1915のみ)」



USB機器に保存したファイルをそのまま投写(PC Free)

USBメモリーやUSBマスストレージに対応したデジタルカメラをプロ ジェクターに接続して、USB機器に保存されている画像、動画、シナリ オデータを直接投写できます。 ☞ p.53

USBケーブルでコンピューターと接続してコン ピューターの画面を投写(USBディスプレー)

同梱品のUSBケーブルとWindows搭載のコンピューターを接続するだけ で、コンピューター画面を投写できます。

☞『セットアップガイド』

ソフトウェアのインストール



同梱品の『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』 CD-ROMには、プロジェクターを活用するためのソフトウェアが収録さ れています。ソフトウェアをお使いのコンピューターにインストールし てください。

PC Free、USBディスプレーはプロジェクターに搭載されている機能で す。CD-ROMのソフトウェアをインストールすることなくそのままお使 いになれます。

収録されているソフトウェア

『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』CD-ROMに は以下のソフトウェアが収録されています。

- EasyMP Network Projection ネットワーク接続したコンピューターの画面映像をプロジェクターに 送信するソフトウェアです。
- EasyMP Slide Converter
 PowerPointファイルをPC Freeで直接投写できるシナリオファイルに 変換するソフトウェアです。

• EasyMP Monitor

ネットワーク接続しているエプソンプロジェクターの状態をコンピュー ター画面に一覧表示して監視、制御するソフトウェアです。EasyMP Monitorを使うと複数のプロジェクターを一括して管理できます。 EasyMP Monitorの使い方は『EasyMP Monitor 操作ガイド』をご覧く ださい。 ☞ 『EasyMP Monitor 操作ガイド』

各ソフトウェアの動作環境は、プロジェクターに添付の『取扱説明書』 「ソフトウェアの動作条件」でご確認ください。 ● 『取扱説明書』「ソフ トウェアの動作条件」

インストールの方法

インストールを開始する前に次の点にご留意ください。

 下記のOSを搭載したコンピューターにEasyMP Network Projection、 EasyMP Slide Converterをインストールするには、管理者権限が必 要です。

Windows 2000
 Windows XP
 Windows Vista

- EasyMP Slide Converterをインストールするためには、お使いのコンピューターに PowerPoint 2002 以降と Visual Basic for Applications(VBA) がインストールされている必要があります。
- 下記のOSを搭載したコンピューターにEasyMP Monitorをインストー ルするには、管理者権限が必要です。
 - Windows 2000
 Windows NT4.0
 - Windows XP
 Windows Vista
- 起動中のアプリケーションはすべて終了してからインストールを行ってください。





• EMP NS Connectionをお使いの方へ EMP NS Connectionは名前が変更になりました。 変更前: EMP NS Connection → 変更後: EasyMP Network Projection 本機でEMP NS Connectionと同様の機能をお使いになるときは、 EMP NS Connectionをアンインストールしてから、必ず EasyMP Network Projectionをインストールしてください。 EMP NS Connectionでは本機と正しく接続できません。 • EMP Monitorをお使いの方へ EMP Monitorは名前が変更になりました。 変更前: EMP Monitor → 変更後: EasyMP Monitor

これまでEMP Monitorを使用していた環境でも、EasyMP Monitor に置き換えて使うことができます。EasyMP Monitorに更新する ときは、事前にEMP Monitorをアンインストールしてから EasyMP Monitorをインストールしてください。

操作

Windowsの場合

コンピューターの電源を入れます。

コンピューターに『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation CD-ROMをセットします。

自動的にセットアッププログラムが起動します。

[おすすめ インストール]をクリックします。

ソフトウェアを選択してインストールしたいときは、**カスタムイ** ンストールを選択します。ソフトウェアの表示言語を変更すると きは言語選択をクリックします。

インストールするアプリケーションを確認して「インストール」を クリックします。

使用許諾画面が表示されたら「はい」をクリックします。

6 EPSON Virtual Displayの追加と削除の画面が表示されたら [OK]をクリックします。

マルチスクリーンディスプレー機能を使うときは、EPSON Virtual Displayの設定が必要ですが、ここで設定しなくても後か ら設定ができます。 🖝 p.30

「完了」をクリックするとインストールが終了します。

EasyMP Slide Converter、EasyMP Monitorをインストールする ように選択していると引き続きインストールが始まります。

Macintoshの場合

EasyMP Slide Converter、EasyMP MonitorはMacintoshには対応して いません。

コンピューターの電源を入れます。

コンピューターに『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation CD-ROMをセットします。





EPSONウィンドウで「ENPvx.xx_Installer」アイコンをダブルク リックします。

インストールが開始します。



「完了」をクリックするとインストールが終了します。

- 自動でインストールを開始しないとき(Windowsのみ)
 スタート ファイル名を指定して実行でファイル名を指定して
 実行ダイアログボックスを開き、CD-ROMドライブ名:
 ¥EPsetup.exeを指定してOKをクリックしてください。
- アンインストールしたいとき

Windowsの場合

スタート - 設定 - コントロールパネル - アプリケーションの追加と削除またはプログラムの追加と削除でEasyMP Network Projectionを削除します。

Macintoshの場合

アプリケーション - EasyMP Network Projectionのフォルダー を削除します。



EasyMP Network Projectionで接続する

コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続して、コンピューターの画面映像をプロジェクターで投写する手順を説明しています。



EasyMP Network Projectionでコンピューターとプロジェクターをネットワーク接続するには、以下の2通りの方法があります。

2つの接続モードと主な機能

マニュアルモード

マニュアルモードはインフラストラクチャー接続で、すでに構築されて いるネットワークシステムにネットワークケーブルで接続する方法で す。

有線LANでネットワークに接続するときは、市販のLANケーブルでプロ ジェクターをネットワークハブなどに接続します。

本機にオプションの無線LANユニットを装着すれば、無線LANアクセス ポイントに接続してネットワークに参加することもできます。



 コンピューターからネットワーク上のプロジェクターの監視・制御が できます。

かんたんモード(オプションの無線LANユニット装着時のみ)

本機にオプションの無線LANユニットを装着しているときに限り、かん たんモードは実行できます。

かんたんモードはプロジェクターが持つSSIDを一時的にコンピューター に割り当てて<u>アドホック</u>♥接続し、切断後にコンピューターのネット ワーク設定を復元します。 ☞ p.18



- ネットワークの設定を行わずに簡単にコンピューターと接続し、その コンピューターの映像を投写できます。
- 接続ケーブルが不要なのでスマートに、またプロジェクターとコン ピューターが離れた位置にあっても接続できます。

主な機能

以下の便利な機能で会議やプレゼンテーションが行えます。

• マルチスクリーンディスプレー ☞ p.29

1台のコンピューターから4台までのプロジェクターに、それぞれ異なる映像を投写したり、横長の帳票画面などを一覧で投写したりできます。



- ●動画ファイル転送(動画再生モード) p.27
 動画再生モードを使うと、コンピューター上でほかのアプリケーションで動画を再生して投写するよりも滑らかに再生できます。
- ・音声転送
 コンピューターの音声をプロジェクターに1対1で転送して再生できま
 す。
- プレゼンテーションモード ☞ p.26

コンピューターでPowerPointのスライドショーを実行しているときだ け投写する機能です。プレゼンテーションまでの準備操作中など、ス ライドショーを実行していないときは黒画面が投写されるのでスマー トなプレゼンテーションができます。

• 分配機能

1台のコンピューターの画面を、最大4台の同一のネットワークに接続 されたプロジェクターに同時に投写できます。 • 切り替え機能

会議で使うすべてのコンピューターにEasyMP Network Projectionを インストールしておけば、順番に発表するときも接続ケーブルをつな ぎ替えることなく次の発表者のコンピューターの画面に切り替えられ ます。

マニュアルモード接続の流れ

EasyMP Network Projectionのマニュアルモードでコンピューターとプロジェクターを接続して、投写するまでのステップは次のとおりです。 次の1から4のステップは、接続までの準備作業で初回のみ実行が必要です。

- 接続するコンピューターにEasyMP Network Projectionをインストー ルする ● p.12
- 2.* コンピューターのネットワーク設定を行いネットワークに接続できる 状態にする ● p.18
- 3. ポート設定で有線LANのアダプターを有効にする ●コンピューターの「取扱説明書」
- 4. 本機のネットワーク設定を行いネットワークに接続できる状態にする ● 『取扱説明書』「ネットワークメニュー(EB-1925W/1915の場合)」
- 5. コンピューターでEasyMP Network Projectionを起動し本機と接続する p.19
- ※ 普段コンピューターをネットワークに接続して使っているときは、コン ピューターのネットワーク設定は不要です。

TOP

接続の準備



プロジェクターとコンピューターで行うそれぞれの接続までの準備作業 は以下のとおりです。

コンピューター側の準備

Windowsの場合

コンピューターのLANアダプターに添付のユーティリティーソフトを 使ってネットワーク設定を行います。ユーティリティーソフトの使用方 法は、お使いのLANアダプターの『取扱説明書』をご覧ください。 たとえば以下の図のように、タスクバーのネットワークアイコンに×が ついていると、本機との接続ができません。



Macintoshの場合

ネットワークポートと通信状態を設定します。詳細設定についてはコン ピューター、またはAirMacカードの各『取扱説明書』をご覧ください。

プロジェクター側の操作

まず、プロジェクターを接続待ちの状態にします。 事前に、プロジェクターのネットワーク設定が終了し、市販のネット ワークケーブルでネットワークハブ等に接続されていることを確認して ください。

操作

リモコンの[①]ボタンを押し、本機の電源を入れます。

リモコンの[LAN]ボタンを押します。

LAN待機画面が表示されます。



コンピューター側の操作

以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。 Macintoshでも同様の画面が表示されます。

操作

) EasyMP Network Projectionを起動します。

Windowsの場合

スタート - プログラム(またはすべてのプログラム) - EPSON Projector - EasyMP Network Projectionの順に選択します。

Macintoshの場合

EasyMP Network Projectionをインストールしたハードディスク ボリュームからアプリケーションフォルダーをダブルクリックし、 EasyMP Network Projectionアイコンをダブルクリックします。

「マニュアルモード」を選択して「OK」をクリックします。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。常にマニュ アルモードで接続するときは、選択した接続モードを次回以降の デフォルト設定とするにチェックを付けます。

3 接続するプロジェクターにチェックを付け、「接続する」をクリックします。

万一、接続したいプロジェクターが検索されないときには、自動 検索をクリックします。検索には30秒程度かかります。 接続画面の詳細は「接続画面の使い方」をご覧ください。 ☞ p.20

プロジェクター側でプロジェクターキーワードを「オン」にしているときは、キーワードを入力する画面が表示されます。LAN待機画面に表示されているキーワードを入力し、「OK」をクリックします。

接続が完了すると、コンピューター画面の映像が投写されます。 コンピューターの画面には次のようなEasyMP Network Projection のツールバーが表示されます。このツールバーを使って、プロジェ クターの操作や設定をしたり、ネットワーク接続を切断したりで









接続画面の使い方

EasyMP Network Projectionを起動すると以下の画面が表示されます。 各ボタンや項目の働きは以下のとおりです。



	✓ EasyMP Network Projection Ver.XXX - かんたんモード -					
	プロジェクターを選択	し接続してください。				
	ステータス	プロジェクター名	SSID	信号強度		
	🗹 🚺 待機	Þ EMP02FAC1	EP SON1			
	🗌 🚺 🧰 待機	Þ EMP02FAC2	EP SON2			
5—						
6						
0	リストの更新 ブロファイルに(保存 リストのクリア 割り込み接続を禁止する				U.XF00707	
	マルチディスブレーを使用する。 オブション設定 トラブルシュート 接続する					

かんたんモードで起動したとき

自動検索

A

2

Auto マニュアルモード時は、コンピューターが接続しているネット ワークシステムの中で接続可能なプロジェクターを検索しま す。

> かんたんモード時は、SSIDによりプロジェクターを検索しま す。

_____ 指定検索



かんたんモード時は、SSIDの一覧から選んでプロジェクターを 検索します。

🕄 ステータス

次の6種類のアイコンで、検索されたプロジェクターの状態をお知らせします。



接続のために選択できます。



接続のために選択できます。接続する をクリックすると、現在接続中のコン ピューターを切断してから接続します。

1	使用中(割り込 み禁止)	選択できません。他のコンピューター で 割り込み接続を禁止する を設定して 接続中です。
1 10	他アプリ使用 中	プロジェクターが環境設定メニューを 表示中です。環境設定メニューを終了 してから検索し直すと選択できます。
<u>.</u>	検索中	指定検索やプロファイルの検索中に表 示されます。
?	見つかりませ ん	指定検索やプロファイルを実行した結 果、見つからなかったときに表示しま す。かんたんモード時は、SSIDが同じ ものに限り複数のプロジェクターを選

択できます。

⑦ プロジェクター名

プロジェクターの名前が表示されます。

⑤ 割り込み接続を禁止する 選択したプロジェクターと接続中に他のコンピューターからの接続を禁 止するときにチェックを付けます。

る マルチディスプレーを使用する

マルチスクリーンディスプレー機能を使用するとき、チェックマークを付けます。チェックマークを付けると画面の下側にディスプレー配置と ディスプレーのプロパティーが表示されます。 ☞ p.29

🕖 トラブルシュート

困ったときや、接続できないときにこのボタンを押すと、EasyMP Network Projectionトラブルシューティング画面が開きます。

接続する

検索結果の一覧で選択したプロジェクターと接続します。プロジェク ターと接続できるとツールバーが表示されます。

😰 オプション設定

EasyMP Network Projection起動時の処理方法などの環境を設定します。 オプション設定について ● p.45

🕕 プロファイルに保存

ネットワーク上のプロジェクターを検索した結果をプロファイルとして 保存します。 ● p.40



🕕 リストのクリア

検索結果の一覧をすべて消去します。

- (アドレス(マニュアルモードのみ)
 プロジェクターのIPアドレスが表示されます。
- じます
 (マルチディスプレーを使用するにチェックしたとき)ディスプレー番号
 を選択します。
 p.35
- SSID(かんたんモードのみ) プロジェクターのSSIDが表示されます。
- 🚺 信号強度

かんたんモードで接続したときに表示されます。信号強度が強いほど、 点灯しているインジケーターの数が多くなります。

リストの更新(かんたんモードのみ)
 ステータスや信号強度を最新の状態に更新します。

ツールバーの使い方

EasyMP Network Projectionを起動してプロジェクターと接続すると、 コンピューターの画面にツールバーが表示されます。このツールバーを 使ってプロジェクターの操作や設定ができます。





操作対象プロジェクターの選択

分配機能やマルチスクリーンディスプレーで複数台のプロジェ クターと接続して投写中に、ツールバーから操作するプロジェ クターを限定するときにクリックします。アイコン下の表示 は、操作対象となっているプロジェクターを示しています。 ALLは接続しているプロジェクターすべてが操作対象となって いることを示しています。

1,3など数字が表示されているときは、接続しているプロジェク ターのうちNo.1と3が操作対象となっていることを示していま す。

歴 をクリックすると以下の画面が表示されます。



操作対象としたいプロジェクターを選択します。



停止

表示

プロジェクターと接続したまま投写を停止します。停止中は、 黒画面が投写されます。音声は停止しません。音声を停止した いとき、プロジェクターに登録してあるユーザーロゴを停止中 の画面として表示させたいときはAVミュートをお使いくださ い。



停止や一時停止を解除します。



一時停止

プロジェクターと接続したまま、投写中の映像の動きを一時的 に停止します。音声は一時停止しません。



プレゼンテーションモード

クリックするたびにプレゼンテーションモードが有効/無効になります。 **● p.26**



プロジェクター制御

ネットワークに接続したまま、プロジェクター機能のA/Vミュート、PCソース切替、Videoソース切替がリモコンや本体の操作 パネルからの操作と同様に行えます。



クリックするたびに入力ソースが、コンピュー ター1 - コンピューター2 - USBディスプレー -USB1 - USB2 - LANの順で切り替わります。



Videoソース切替

クリックするたびに入力ソースが、S-ビデオ -ビデオ - HDMIの順で切り替わります。S-ビデオ はケーブルが接続されていないときは切り替わ りません。



画面プレビュー

マルチスクリーンディスプレーのプレビュー画面を表示します。

をクリックすると、設定されているディスプレーの配置が プレビュー表示されます。各ディスプレーをクリックすると、 画面プレビューウィンドウ全体に拡大表示されます。



オプション設定





×

動画再生モード

動画ファイルを直接再生するときに使います。 🖝 p.27

切断する 切断する

プロジェクターとの接続を終了します。

信号強度

かんたんモードで接続したときに表示されます。信号強度が強 いほど、点灯しているインジケーターの数が多くなります。

ツールバー表示切り替え

TOP

ツールバーの表示を以下のように切り替えられます。ツール バーの表示状態は、次に切り替えるまで保存されます。

Full



Normal

EasyMP Ne		Projection Ver.X.> 🗖 🗷
	14	切断する 🕨

Simple

EasyMP Network」に図: 切断する ・



EasyMP Network Projectionの便利な機能

プロジェクターで動画ファイルを直接再生することで滑らかな動画投写を実現する動画再生モードや、1台のコンピューターから複数のプロジェクター へ多様な画面を投写するマルチスクリーンディスプレー機能など会議やプレゼンテーションを多彩にする便利な機能の使い方を説明しています。 プレゼンテーションモードにすると、コンピューター上でPowerPointの スライドショーを実行したときだけ、その映像が投写されます。スライ ドショーを実行していないときは黒画面が投写されます。スライドショー 以外を見せたくないときに便利です。 MacintoshではPowerPointのほかKeynoteもプレゼンテーションモード に対応しています。

操作

- 少 必要に応じ操作対象のプロジェクターを選択し直します。
 ☞ p.22
- ② ツールバーの 🧾 ボタンをクリックします。

プレゼンテーションモードになります。

③ プレゼンテーションモード中に、もう一度 三 ボタンをクリック するとプレゼンテーションモードが解除されます。 TOP

コンピューター内の動画ファイルを投写する(動画再生モード)



動画再生モードを使うと、動画ファイルそのものをプロジェクターに転送します。このため、コンピューター上でほかのアプリケーションで動 画を再生して投写するよりも滑らかに再生できます。

また、音声も同時に転送しながら再生しますので、コンピューターとプ ロジェクターをオーディオケーブルで接続する必要がありません。複数 のファイルを選択しておき、上から順に繰り返し再生することもできま す。



•動画再生モードは1台のプロジェクターに対して行えます。

- 複数台のプロジェクターに対して同時に動画再生モードを実行す ることはできません。
- 通信方式や電波状況によっては映像や音が飛んだり止まったりす ることがあります。

再生できるファイルの仕様

動画再生モードで投写できるファイルは、以下の表のとおりです。

ファイル タイプ(拡 張子)	動画コーデック	音声コーデック	記録品質
.mpg .mpeg	MPEG-2	MPEG-1 Layer1/2 無音のMPEGコンテンツも再 生できます。リニアPCMと AC-3は再生できません。	最高フレーム レート: 30fps 最大解像度:
.mp4	MPEG-4 ASP MPEG-4 AVC	MPEG-4 AAC-LC	720×576
.wmv .asf	WMV8 WMV9	WMA	

デジタル著作権管理(DRM)のかかっているファイルは投写できません。





ファイルを開く		? ×
ファイルの場所型:	🗢 リムーバブル ディスク (F:) 🔽 🕓 😰 🖽 -	
していたい 最近使ったファイル で入りトップ	Movie1.mpe Movie2.mpe Movie3.mpe III Movie4.wmv	
ک ۲۲ ۴キ۱ ۲۶		
र्ग २१७-७	771ル名(W): Movie1.mpg マ 開	
	ファイルの種類(①: 動画ファイル (*.mpeg.*.mpg.*.mp4.*.wmv.*.asf) ▼ キャ	ren 🛛

動画再生モード画面に戻ります。選択したファイルが動画ファイ ルリストに表示されます。

再び**ファイルを選択**を実行すると、動画ファイルリストは後から 選択した内容に変わります。



- 再生ヘッド
- ドラッグ&ドロップしたところからファイルの再生を開始します。
- ▶ 再生

ファイルを再生します。

- ・
 一時停止

 再生を一時停止します。
- 停止
 再生を停止します。

- 前へ 再生中のファイルの先頭から再生します。
- 次へ次のファイルの先頭から再生します。
- リピート
 ファイルリストの上から順番に繰り返し再生します。リストに 複数のファイルがあるときは、特定のファイルだけを繰り返し 再生することはできません。





マルチスクリーンディスプレーは、1台のコンピューターに複数台のプロジェクターを接続して多様な画面を投写できます。

Windowsの場合は、コンピューターに複数の<u>仮想ディスプレー</u>≫ドライバーを設定し、それぞれの映像をプロジェクターで投写できます。なお Windows Vistaでは、Windows Vistaの仕様上この機能は使用できません。

Macintoshの場合は、マルチスクリーンディスプレー機能を使用するにはコンピューターに実際に外付けのモニターを接続しておく必要があります。 以降の説明で仮想ディスプレーとある箇所は、Macintoshの場合実際に接続されているモニター画面に対する操作となります。





仮想ディスプレーの配置例

<u>仮想ディスプレー</u>→の配置を工夫することで、プレゼンテーションを行うときに見せたい映像だけをプロジェクターに投写したり、左右で違った映像を配置して投写できます。

配置例1



配置例2



マルチスクリーンディスプレー機能を使用するまで の流れ

1. 仮想ディスプレーの設定 🖝 p.31

Windows環境では、必要に応じ<u>仮想ディスプレー</u>→ドライバーを有効にします。また、Windows、Macintoshとも仮想ディスプレーの配置を設定します。

2. 投写する映像を割り当てる 🖝 p.35

投写するファイルを起動し、実際に投写する配置に合わせて仮想ディスプ レーに画面を移動します。

3. 割り当てた映像を投写する 🖝 p.35

ネットワークを介して接続したプロジェクターに仮想ディスプレーの番号 を割り当てて投写します。

仮想ディスプレーの設定

ここでは仮想ディスプレーの配置例 1 を例に説明します。 ← p.30

仮想ディスプレードライバーを有効にする(Windowsのみ)

<u>仮想ディスプレー</u>→のドライバーを有効にします。以下の方は、この操作は不要です。次の●「仮想ディスプレーの配置」p.31に進んでください。

• EasyMP Network Projectionインストール時に、仮想ディスプレーを 有効にした方。

• Macintoshをお使いの方。

コンピューターでWindowsを起動し、「スタート」 - 「プログラム」(または「すべてのプログラム」) - 「EPSON Projector」 - 「EPSON Virtual Displayの追加と削除」の順に選択します。

EPSON Virtual Displayの追加と削除の画面が表示されます。

使用する「仮想ディスプレー」にチェックを付けます。

実際のモニターに加えて4つまで追加できます。ここでは、仮想 ディスプレーを1つ使うので1つにチェックマークを付けます。仮 想ディスプレーを複数設定するときは必要な数だけチェックを付 けます。

チェックを付ける番号はどれでもかまいません。



OKをクリックすると、仮想ディスプレーを使用するためのドライ バーが有効になります。途中で画面がちらつきますが異常ではあ りません。EPSON Virtual Displayの追加と削除の画面が閉じる までしばらくお待ちください。

仮想ディスプレーの配置

EasyMP Network Projectionを起動し、仮想ディスプレーを配置する方法をWindowsの場合とMacintoshの場合で分けて説明します。



無線LANで接続するときは、EasyMP Network Projectionを起動す る前に、以下の点を確認してください。以下の点が正しく設定され ていないとマルチスクリーンディスプレーを行うことはできません。

- ・コンピューターと各プロジェクターのSSIDが一致している。
- コンピューターと各プロジェクターの無線LANカードの無線LAN 方式が一致している。
- プロジェクターのSSIDや無線LAN方式は、プロジェクターの環境 設定メニューのネットワークメニューで変更できます。 ● 『取 扱説明書』「無線LANメニュー(オプションの無線LANユニット装着 時のみ)」

操作

操作

Windowsの場合



画面の下側にディスプレー配置とディスプレーのプロパティーが 追加表示されます。





画面のプロパティ画面が表示されます。

「設定」タブをクリックします。

画面のフロパティ **?**× テーマ デスクトップ スクリーン セーバー デザイン 設定 モニタアイコンをドラッグしてモニタの実際の配置と合わせてください。 ディスプレイ(D): 1. Mobile Intel(R) 965 Express Chipset Family上の ThinkPad Display 1280x8 🔽 画面の解像度(S) - 画面の色(C) - 7 大 小 _____ 中 (16 ビット) ¥ 1280 × 800 ピクセル ✓このデバイスをプライマリモニタとして使用する(U) ✓ Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする(E) 識別の トラブルシューティング(①... 詳細設定(V) OK キャンセル 適用(A)

TOP





表示されているモニターアイコンをドラッグしてどのように配置 するかを決めます。

ここでは、実際のモニター(1)を左側に、仮想ディスプレー(3)を右側に配置します。

コンピューターにディスプレー出力端子が複数あるときは、仮想 ディスプレーの番号はそれに続く番号が割り当てられます。

画面のプロパティ ? 🔀
テーマ デスクトップ スクリーン セーバー デザイン 設定
モニタ アイコンをドラッグしてモニタの実際の配置と合わせてください。
132 7 ⁻
1. Mobile Intel(R) 965 Express Chipset Family上の ThinkPad Display 1280x8 💌
Ф (16 Сум)
1280 × 800 ピクセル
 ✓ このデバイスをプライマリーモニタとして使用する(U) ✓ Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする(E)
識別型 トラブルシューティング① 詳細設定 ♡
OK キャンセル 適用(A)





• 画面の解像度の設定は次を参照してください。 🖝 p.73

モニターアイコンを配置すると以下のようなイメージで仮想ディ スプレーが接続されます。



6)

「OK」ボタンをクリックして画面のプロパティ画面を閉じます。

ここまでで仮想ディスプレーの配置が決まりました。 続いて投写する映像を割り当てます。 ☞ p.35

Macintoshの場合

EasyMP Network Projectionを起動します。EasyMP Network Projectionをインストールしたハードディスクボリュームからア プリケーションのフォルダーをダブルクリックし、EasyMP Network Projectionのアイコンをダブルクリックします。

ここではマニュアルモードを選択して起動します。



\varTheta 🔿 🔘 E	asyMP Network Projecti	on Ver.X.XX - マニュアノ	レモード -
Auto 自動検索	指定検索	= プロファイル	ν 🗸
プロジェクターを選択し	接続してください。		
ステータス	プロジェクター名	IPアドレス	
🗌 证 20 待機中	EPSON-PJ	192.168.100.110	
		プロファイルに保存	F) (J2F07J7
割り込み接続を禁止す マルチディスプレーを [,]	る		オプション設定
			接続する

画面の下側にディスプレー配置とディスプレー環境設定が追加表 示されます。

マルチスクリーンディスプレー機能を使う



?





□ ディスプレイをミラーリング

ディスプレーの設定画面を閉じます。 ここまでで画面の配置が決まりました。

5)「ディスプレイをミラーリング」のチェックを外します。



割り当てた映像を投写する

ここでは、仮想ディスプレーの配置例1を例に説明します。 🖝 p.30

操作

● 「ディスプレー」から割り当てる<u>仮想ディスプレー</u>→の番号を選択して、どのプロジェクターでどの仮想ディスプレーの映像を投写するのかを設定します。

🔛 E	asyMP Network P					
Aut	Auto 自動検索 💦 指定検索 📄 プロファイル					
プロ	コジェクターを選択し接	続してください。				
	ステータス	プロジェクター名	IPアドレス	ディスプレー		
	(ごう) 待機中	EMP02FAC1	192.168.11.1	1 🗸		
	(11) 待機中	EMP02FAC2	192.168.11.2	3 🗸		
Ĭ				\smile		



「接続する」をクリックします。

リストの更新 ブロファイルに保存 リストのクリア
□割り込み接続を禁止する
ママルチディスブレーを使用するオプジョン設定
トラブルシュート 接続する
ディスプレー配置
1 3
ディスブレーのブロバティー

各プロジェクターに割り当てた映像が投写されます。

マルチスクリーンディスプレー機能を使う





Windows環境でお使いのときは、仮想ディスプレーのドライバーが有効になっているとマウスポインターを画面の表示領域外に移動できるため、マウスポインターがどこにあるかわからなくなったと感じることがあります。仮想ディスプレーを使用しないときは、EPSON Virtual Displayの追加と削除の画面で仮想ディスプレーのチェックを外すと、マウスポインターが画面の表示領域内に戻ります。マルチスクリーンディスプレーを使用する際は、再びEPSON Virtual Displayの追加と削除の画面でチェックを付けてください。
 チェックを外す操作は次を参照してください。

各プロジェクターの色合いを合わせることができます。 ● 『取扱説明書』「複数台設置時の色差補正(マルチスクリーンカラーアジャストメント)」

Windows環境でお使いのときは、仮想ディスプレーに配置した画面を、コンピューター上では見ることができません。仮想ディスプレーの画面操作は投写されている映像を見ながら行ってください。

仮想ディスプレーでのマウス操作は、仮想ディスプレーを配置している方向へマウスポインターを移動し、投写画面にマウスポインターが現れることで行えるようになります。

マルチスクリーンディスプレーへの投写を終了するには、ツール バーの「切断する」をクリックします。


サブネットが異なるプロジェクターと接続したいとき

ここでは、既存のネットワークシステムに接続された有線LANまたは無線LANアクセスポイントを経由して、コンピューターをサブネットが異なるプロジェクターに接続する方法を説明します。

初期状態では本アプリケーションは同一のサブネット内でのみ検索を行います。そのため、サブネットの異なるネットワークに接続されている プロジェクターは、検索してもそのままでは見つかりません。 サブネットの異なるプロジェクターを検索して接続するには次の方法があります。

- IPアドレスまたはプロジェクター名を指定して検索する
 IPアドレスを直接入力して検索できます。また、接続したいプロジェクター名がDNSサーバーに登録されているときはそのプロジェクター
 名を入力して検索することもできます。 p.39
- プロファイルを使って検索する

一度IPアドレスやプロジェクター名を指定してサブネットの異なるプロジェクターを検索した結果を、分かりやすい名前でプロファイルとして保存しておくと、次回からはそのプロファイルを使ってサブネットの異なるプロジェクターを検索できるようになります。
 ● p.40

- - -	プロジェクターが見つからない一般的な原因として、次のものが考 えられます。該当するときは原因に応じて対処してください。
	 Windows/Macintosh共通 無線LANの電波が届かない、または弱いときは、電波の妨げになっているものがないか確認してください。
	 本機にオプションの無線LANユニットを装着し、Macintoshと無線LAN接続する場合 AirMacが入になっているか確認してください。または、目的のア
	クセスボイントを選択しているか確認してください。



以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。 Macintoshでも同等の画面が表示されます。

操作



EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面で、「指 定検索」をクリックします。

Auto ロックターを選択し接続してください。					
	ステータス	<u>د</u>	プロジェクター名	IPアドレス	
		待機中	EMP02FAC1	192.168.11.1	
		待機中	EMP02FAC2	192.168.11.2	
		待機中	EMP02FAC3	192.168.11.3	
プロファイルに保存 リストのクリア					
□割り込み接続を禁止する					
□マルチディスプレーを使用する オブション設定					
接続する					



接続したいプロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター 名を入力して「OK」をクリックします。

指定検索
プロジェクターのIPアドレス、またはプロジェクター名を入力
してください。
•
OK キャンセル

EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面に検索結果が表示されます。

目的のプロジェクターが見つかったら、そのプロジェクターを選択し、接続するをクリックして接続してください。 そのプロジェクターをいつも使うときは、プロファイルに保存しておくと、毎回指定検索をしなくてすみます。 (* p.40



かんたんモードで**指定検索**を使うとSSIDを指定できます。プロジェ クターが多いときに検索対象をSSIDで絞り込むことができます。



よく使うプロジェクターは、プロファイルとして保存しておくことができます。プロファイルとはプロジェクター名、IPアドレス、SSIDといったプロジェクター情報をひとまとめにしたファイルです。次回からはその情報を指定して検索すると、その都度IPアドレスやプロジェクター名を指定して検索しなくてすみます。例えば、プロジェクターを設置している場所ごとにプロファイルのグループを作って、フォルダーで管理すると目的のプロジェクターを素早く見つけることができます。



ここでは、プロファイルの作成、編集方法を説明します。

プロファイルを作成する

プロファイルは、検索した結果を保存して作成します。 いったん保存したプロファイルの編集は次を参照してください。 ● p.42

操作

2 EasyMP Network Projectionプロジェクター選択画面にプロジェ クターが表示された状態で、「プロファイルに保存」をクリックし ます。

🚰 EasyMP Network Projection Ver.XXX - マニュアルモード -				
Auto 自動検索 🎥 指定検索 📑 プロファイル				
プロジェクターを選択し接	続してください。			
ステータス	プロジェクター名	IPアドレス		
🗌 💽 🧰 待機中	EMP02FAC1	192.168.11.1		
🔲 💽 🧰 待機中	EMP02FAC2	192.168.11.2		
🔲 💽 🧰 待機中	EMP02FAC3	192.168.11.3		
ブロファイルに保存 リストのクリア 割り込み接続を禁止する マルチディスブレーを使用する マルチディスブレーを使用する オブション設定 トラブルシュート 接続する				

プロファイルに保存画面が表示されます。

2) プロファイル名を入力し、「追加」をクリックします。

ブロファイルに保存	×
プロファイル名を入力してください	
ブロファイル名 語振振設定 道加 キャンセル	

プロファイルにプロジェクター情報が登録されます。 すでにプロファイルを作成していた場合は、上書きしてよいか確 認します。別名で保存したいときは、**別名で保存**を選べます。な お、プロファイルにフォルダーを作成しているときは以下の画面



が表示されますので、プロファイル名を入力し、**保存場所**を選択 してから**追加**をクリックします。

Windowsの場合
プロファイルに保存 🛛 🔀
プロファイル名を入力し、保存する場所を指定してください。
プロファイル名
□ □ プロファイル □ A枝 □ □ B枝
追加キャンセル
Macintoshの場合
プロファイルに保存
プロファイル名を入力し、保存する場所を指定してく ださい。
プロファイル名名称未設定
保存場 <mark>∄ <mark>√</mark> プロファイル</mark>
🗾 A棟

□ B棟

プロファイルにフォルダーを作成する方法は次を参照してください。 (ア),42

プロファイルを指定して検索

作成したプロファイルを指定して検索します。





プロファイルが登録されていないときは、**プロファイル**は選択できません。

🕼 EasyMP Network Projection Ver.X.XX - マニュアルモード -					
Auto	Auto 自動検索 💦 指定検索 📋 ブロファイル				
プロ	ドジェクター	を選択し接	続してください。		
	ステータ	ス	ブロジェクター名	IPアドレス	
		待機中	EMP02FAC1	192.168.11.1	
		待機中	EMP02FAC2	192.168.11.2	
		待機中	EMP02FAC3	192.168.11.3	
				プロファイルに保存 リストのクリア	
□割り込み接続を禁止する					
マルチディスプレーを使用する オプション設定					
トラブルシュート 接続する					

2 表示されたメニューから、接続したいプロジェクターを選択します。



🖉 EasyMP Network Projection Ver.X.XX - マニュアルモード - 📃 🔲 🔀				
Pathone 自動検索 Pathone 指	定検索 📑 ブロファイル	•		
プロジェクターを選択し接	続してくださ、 Building A I	•		
ステータス	プロジェク: Building B I	Building B 1st floor	ディスプレー	
🗹 💽 🧰 待機中	EMP02FAC1	Building B 2nd floor	1 💌	

EasyMP Network Projectionのプロジェクター選択画面に検索結 果が表示されます。 目的のプロジェクターが見つかったら、そのプロジェクターを選 択し、接続するをクリックして接続してください。

プロファイルを管理する

プロファイルの名称や階層構成を変更します。

操作

1

EasyMP Network Projectionのメイン画面で「オプション設定」 をクリックします。

オプション設定画面が表示されます。

2)「プロファイル編集」をクリックします。

オプション設定	×
→般設定 パフォーマンス調整 音声出力	_
✓全面面動画転送を使う	
□暗号化通信を行う	
✓ 起動時に接続モード選択画面を表示する	
 起動時の検索方法 ● 起動時に自動検索を行う 	
○記動後に検索方法を指定する	
○ 前回使用したネットワーク設定で検索する	
プロファイル編集 LAN切替	

プロファイル編集画面が表示されます。





ブロファイル編集			\mathbf{X}
プロファイル	┌選択プロフ:	アイル情報	
□ プロファイル		プロジェクター名	IPアドレス
		EMP02FAC1	192.168.4.251
		EMP02FAC2	192.168.4.252
		EMP02FAC3	192.168.4.253
11日本 11日本 11日本 11日本 11日本 11日本 11日本 11日本			肖·『珍余
名が変更フォルダー作成			
エクスポート インポート			
			0K キャンセル
	ダーを示	しています。	
- 「二 「二 : ブロファ	ァイルを:	示しています	0

プロファイル	
項目	機能
プロファイル	登録されているプロファイルが表示されます。 フォルダーを作成して管理できます。プロファイ ル、またはフォルダーの並び順は、ドラッグ&ド ロップで移動できます。
複製	プロファイルを複製します。複製したプロファイルは、複製元ファイルの名称と同じ名称で複製元のファイルの名称と同じ名称で複製元のファイルと同じフォルダーに保存されます。
削除	プロファイル、またはフォルダーを削除します。

プロファイル		
項目	機能	
名称変更	名称変更ダイアログが表示され、フォルダー名、 またはプロファイル名を変更できます。名称変更 ダイアログで入力できる文字数は32文字までで す。	
フォルダー作成	新たにフォルダーを作成できます。	
エクスポート	作成したプロファイルをエクスポートし、イン ポートすると、そのプロファイルを使えます。	
インポート	エクスポートしたプロファイルを読み込んで使い たいときなどに利用します。	

選択プロファイル情報			
項目	機能		
プロジェクター 名、IPアドレス	プロファイルに登録されているプロジェクター情報が表示されます。		
削除	選択したプロジェクター情報を削除します。すべ てのプロジェクター情報を削除するとプロファイ ルも削除されます。		



🥑 ГОК」をクリックします。

編集した結果を保存してプロファイル編集画面を閉じます。



EasyMP Network Projectionの動作を設定する

EasyMP Network Projection起動時の処理方法などを設定します。

オプション設定の使い方



EasyMP Network Projection起動時の処理方法などを設定します。 オプション設定は、EasyMP Network Projectionのメイン画面から呼び 出します。

操作

EasyMP Network Projectionのメイン画面で「オプション設定」 をクリックします。

🚰 EasyMP Network Projection Ver.XXX - マニュアルモード -				
ブロジェクターを選択し接続してください。				
ステータス ブロジェクター名 IPアドレス				
🔲 💽 🧰 待機中	EMP02FAC1	192.168.11.1		
□ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●				
🗌 💽 🧰 待機中	i 192.168.11.3 192.168.11.3			
		プロファイルに保存 リストのクリア		
■割り込み接続を禁止す	3			
□マルチディスプレーを使用する オブション設定				
トラブルシュート		接続する		

オプション設定画面が表示されます。

各項目を設定します。

設定項目の詳細は次項で確認してください。設定し終わったら、 OKをクリックしてオプション設定画面を閉じます。

各項目の設定

ー般設定タブ、パフォーマンス調整タブ、音声出力タブで各項目の設定 を行います。

一般設定タブ

オプション設定	×
一般設定パフォーマンス調整 音声出力	_
✓注画面動画転送を使う	
□暗号化通信を行う	
✓ 起動時に接続モード選択画面を表示する	
起動時の検索方法	
● 起動時に自動検索を行う	
○記動後に検索方法を指定する	
○前回使用したネットワーク設定で検索する	
ブロファイル編集 LAN切替	
	5

全画面動画転送を使 う	Windowsのみ(Windows Vistaは除く) Windows Media Playerを全画面表示したいときは チェックを付けます。ただし、動きがなめらかでな いと感じるときはチェックを外してください。
暗号化通信を行う	チェックを付けるとデータを暗号化して送信しま す。データを傍受されても、解読されません。 かんたんモードで使うときは必ず設定してくださ い。
起動時に接続モード 選択画面を表示する	EasyMP Network Projectionの起動時にかんたんモー ド/マニュアルモードの選択画面を表示する/しない を設定します。 いつも起動方式が決まっているときはチェックを外 してください。
起動時の検索方法	EasyMP Network Projection起動時に実行するプロジェクターの検索方法を以下から選択します。 起動時に自動検索を行う 起動後に検索方法を指定する 前回使用したネットワーク設定で検索する



プロファイル編集	プロファイル編集ダイアログが表示されます。 ☞ p.42
LAN切替	Windowsのみ ネットワークアダプター切り替えダイアログが表示 されます。複数のネットワークアダプターを使える コンピューターで、検索に使うアダプターを切り替 えるときに使います。 初期設定ではすべてのネットワークアダプターを使 用して検索します。接続方法がいつも有線LANで固 定のときには有線LANのアダプターを選択します。
既定値に戻す	ー般設定タブのうちプロファイル編集、LAN切替を 除くすべての調整値を初期値に戻します。

パフォーマンス調整タブ

<u>ò</u>	
	ジョン

調整用スライドバー	速い、標準、きれい でパフォーマンスを調整できま す。
	動画の投写映像が途切れるような場合は、 速い 側へ 設定してください。

レイヤードウィンド ウの転送	Windowsのみ(Windows Vista は除く) レイヤードウィンドウを転送する/しないを設定しま
	g。 コンピューター画面に表示されているメッセージな どがプロジェクターで投写されないときは、レイ ヤードウィンドウが使われています。チェックを付
	けるとレイヤードウィンドウを使ったメッセージなども投写されます。
	コンピューターの画面上でマウスカーソルのちらつ きが気になるときは、チェックを外します。
既定値に戻す	パフォーマンス調整タブの調整値をすべて初期値に 戻します。



示されます。

音声出力タブ





音声をプロジェク ターで出力する	コンピューターの音声を転送してプロジェクターで 出力する/しないを設定します。音声をコンピュー ターで出力するときは、チェックを外します。ただ し、動画再生モードで音声付きの動画を再生すると きは、この項目の設定に関わらず音声はプロジェク ターから出力されます。
既定値に戻す	クリックすると音声をプロジェクターで出力するよ うに設定されます。



コンピューターを使ってプロジェクターの設定・監視・制御をする

ここでは、ネットワークを介して接続したコンピューターを使って、プロジェクターの設定を変更したり、管理したりする方法を説明しています。



プロジェクターとネットワーク接続したコンピューターのWebブラウ ザーを利用して、コンピューターからプロジェクターの設定や制御が行 えます。この機能を使えば、プロジェクターから離れた場所から、設定 や制御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力で きるので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザーは、Microsoft Internet Explorer6.0以降を使用してくだ さい。Macintoshをお使いの場合は、Safariも使用できます。ただし、 Mac OS X 10.2.8でSafariをお使いの場合はWeb制御上のラジオボタン が一部正しく表示されないことがあります。

プロジェクターの環境設定メニューの**拡張設定 - 待機モード**をネットワーク有効に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態 (電源OFFの状態)でも、Webブラウザーを使った設定や制御ができます。

Web制御を表示する

以下の手順で、Web制御を表示します。



プロジェクターのIPアドレスを入力する

マニュアルモードを利用する場合は、次のようにプロジェクターのIPア ドレスを指定してWeb制御を開くことができます。

操作

コンピューターでWebブラウザーを起動します。

Webブラウザーのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレ スを入力し、コンピューターのキーボードの[Enter]キーを押しま す。

Web制御が表示されます。

プロジェクターの環境設定メニューのネットワークメニューでWeb 制御パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画 面が表示されます。ユーザー名にはEPSONWEBと入力してくだ さい。パスワードにはWeb制御パスワードで設定した文字を入力 してください。

プロジェクターの設定

プロジェクターの環境設定メニューで設定する項目を設定できます。設 定した内容は、環境設定メニューに反映されます。また、Webブラウ ザーでのみ設定できる項目もあります。

Webブラウザーで設定できない環境設定メニューの項目

次の項目を除いて、プロジェクターの環境設定メニューの項目を設定で きます。

- 設定メニュー ポインター形状
- 設定メニュー テストパターン
- 設定メニュー ユーザーボタン
- 拡張設定メニュー ユーザーロゴの登録
- 拡張設定メニュー 言語
- 拡張設定メニュー 動作設定 高地モード

- 拡張設定メニュー 動作設定 レンズカバータイマー
- •初期化メニュー 全初期化、ランプ点灯時間初期化
- 各メニューの項目の内容はプロジェクター本体の環境設定メニューと同じです。
- ☞ 『取扱説明書』「機能一覧」

Webブラウザーでのみ設定できる項目

Webブラウザーで設定できる項目は以下のとおりです。

- SNMPコミュニティー名
- Monitorパスワード

メール通知機能で異常を通知する

プロジェクターの環境設定メニューでメール通知機能の設定をしておく と、プロジェクターが異常/警告状態になったとき、設定したメールア ドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場 所にいてもプロジェクターの異常を知ることができます。

- 『取扱説明書』「メールメニュー」
- ・送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができま す。
 - プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態に なった場合などは、メール送信できないことがあります。
 - プロジェクターの環境設定メニューで拡張設定 待機モードを ネットワーク有効に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、監視ができます。



プロジェクターの環境設定メニューでSNMPの設定をしておくと、プロ ジェクターが異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに 異常状態が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している 状態でもプロジェクターの異常を知ることができます。

●『取扱説明書』「その他メニュー」



- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使ってプロジェクターを監視するには、コンピュー ター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている 必要があります。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのかんたんモードでは使用 できません。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。





PC Freeを使ったプレゼンテーション

ここでは、USBストレージに保存されている画像・動画ファイルやEasyMP Slide Converterで作成したシナリオをプロジェクターで直接投写するPC Free機能の操作方法を説明します。



PC Freeは、USBストレージやデジタルカメラをプロジェクターに装着 再生できる動画データ して、保存されているファイルを直接投写できます。

<u>کې</u>:

セキュリティー機能が付いているUSBストレージは、使用できない ことがあります。

PC Freeで投写できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
シナリオ	.fse .sit ^ӂ	EasyMP Slide Converterで作成したシナリオ ファイルです。 🖝 p.64
画像	.jpg	以下の場合は投写できません。 • 解像度が8192×8192を超えるもの • ファイルサイズが12MBを超えるもの • 拡張子が .jpegのファイル • CMYKカラーモード形式 • プログレッシブ形式 JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像 がきれいに投写されないことがあります。
	.bmp	解像度が1024×768を超えるものは投写できません。
	.gif	 解像度が1024×768を超えるものは投写できません。 アニメーションGIFは投写できません。
	.png	解像度が1024×768を超えるものは投写できません。
DPOF	.mrk	DPOFのバージョンが1.10で、ファイル名が AUTPLAYx.mrk(xは0~9の数字)のもののみ投写 できます。

ファイル タイプ (拡張子)	動画 コーデック	音声コーデック	記録品質
.mpg*	MPEG-2	MPEG-1 Layer1/2 無音のMPEGコンテンツも 再生できます。 リニアPCMとAC-3は再生 できません。	最高フレームレー ト:30fps 最大解像度: 720×480 (NTSC) 720×576 (PAL)
.mp4 [™]	MPEG-4 ASP MPEG-4 AVC	MPEG-4 AAC-LC	
.wmv .asf	WMV8 WMV9	WMA	

※ 拡張子が.mpegのファイルは投写できません。

• デジタル著作権管理(DRM)がかかっているファイルは投写できま せん。 • 動画を再生する場合、アクセス速度が遅いUSBストレージ(高ビッ トレート再生のとき)を使用すると、正しく再生されなかったり、 音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。 USBハードディスクを使用するときは、ACアダプターで電源供 給することを推奨します。 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、 Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。 メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。

※ 別のエプソンプロジェクターに添付のEMP SlideMaker / EMP SlideMaker2 で作成したシナリオ(SITファイル)も投写できます。

55 TOP

PC Freeの利用例

USBストレージなどに保存した画像を投写



投写する画像・動画ファイルの再生方法は以下の2通りあります。PC Freeを使うとコンピューター上でほかのアプリケーションで動画を再生 して投写するよりも滑らかに再生できます。

例1:複数の画像を用意して連続再生する(スライドショー) ● p.62 例2:画像ファイルや動画ファイルをひとつひとつ選んで投写する ● p.61

コンピューターを持ち込まずにPowerPointファイルのスライドショーを投写

PowerPointファイルをEasyMP Slide Converterでシナリオ形式に変換 し、USBストレージに保存しておけばコンピューターを持ち込まずに PowerPointのスライドショーを投写できます。



変換時に投写するファイルの再生方法を以下のように設定することがで きます。

例1: PowerPointファイルをそのままシナリオに変換して、投写する

- ●「PowerPointファイルをシナリオに変換する」p.66
- ☞「シナリオの投写」p.59

例2:シナリオを自動再生(オートラン)に設定する

☞「PowerPointファイルをシナリオに変換する」p.66

PC Free の基本操作

PC Freeでは、USBストレージ内のシナリオ・画像・動画ファイルやデ ジタルカメラの画像ファイルを再生し、投写できます。 ここでは、PC Freeの基本的な使用方法について説明します。

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、プロジェ クターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

PC Freeの起動と終了

PC Freeの起動方法

操作

- 投写映像をUSB1に切り替えます。
 - 『取扱説明書』「リモコンで目的の映像に切り替える|
- プロジェクターに、USBストレージまたはデジタルカメラをセッ トします。
 - 『取扱説明書』「USB機器の接続と取り外し」
 - PC Freeが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。



JPEGファイルやMPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小 さい画像で表示)されます。シナリオ(FSEファイル、SITファイル)は、 スライドの1枚目の画像がサムネイル表示されます。それ以外のファイ ルとフォルダーは次表のようにアイコンで表示されます。

アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
FSE	FSEファイル [※]	DPOF	デジタルカメラ用 フォーマット
SIT	SITファイル [※]	MPEG	MPEGファイル
JPEG	JPEGファイル [※]	WMV	WMVファイル
ВМР	BMPファイル	PFX	PFXファイル (クライアント証明書)



TOP



アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
GIF	GIFファイル	CER	CERファイル (CA証明書)
PNG	PNGファイル		

※ サムネイル表示できない場合は、アイコンで表示されます。



- USBカードリーダーにメモリーカードをセットして本機に接続することができます。ただし、市販のUSBカードリーダーには本機で使用できないものもあります。
- ・以下の画面(ドライブの選択画面)が表示されたときは、[▲]
 [④][④][●]ボタンを押して使用するドライブを選択し、[決定]ボタンを押します。



- ドライブの選択画面を表示するには、ファイルー覧画面上部のドライブの選択にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。
- •本機が一度に認識できるドライブは8つまでです。

PC Freeの終了方法



PC Freeを終了するには、接続しているUSB機器を本機のUSB1端子から取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

PC Freeの基本操作

以下ではPC Freeで画像や動画、シナリオを再生、投写する操作を説明 します。

操作

[(____][(___)]()]ボタンを押して、操作の対象となるファ







現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示しきれて いない場合は、[ページ]ボタン(送り)を押すか、画面下部の次のペー ジにカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。 前の画面に戻る場合は、「ページ」ボタン(戻し)を押すか、画面上部 の前のページにカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。

[決定]ボタンを押します。

選択した映像が表示されます。 フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示さ れます。フォルダーを開いた画面で、上へ戻るを選択して[決定] ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

画像を回転する

PC Freeで再生したJPEG形式の画像を90°単位で回転できます。スライ ドショー実行時に再生されるJPEG形式の画像も回転できます。

次の手順でJPEG形式の画像を回転します。



JPEG形式の画像またはシナリオを再生するか、スライドショー を実行します。

JPEG形式の画像の再生 🖝 p.61

シナリオの再生 🖝 p.60

スライドショーの実行 **一** p.62

JPEG形式の画像が再生されたら、[<___]ボタンまたは[<・・] ボタンを押します。















シナリオの投写



ここでは、USBストレージに保存したシナリオの再生方法とシナリオ再 生中の操作方法について説明します。

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、プロジェ クターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

シナリオの準備・編集

再生するシナリオは、事前にEasyMP Slide Converterで作成しUSBストレージに転送しておきます。 ← p.64

SITファイルを簡易編集する

EasyMP Slide Converterの簡易変換 p.67で変換したSITファイル に対して、スライドの投写する順番を変更したり、各スライドの表示・ 非表示を編集したりできます。

FSEファイルを簡易編集することはできません。

操作



[<-->][<-->][(·)][(·)][(·)]ボタンを押して、編集するSITファイルに カーソルを合わせ[戻る]ボタンを押します。

2 表示されたサブメニューで「シナリオ編集」を選択して[決定]ボタンを押します。





目的のスライドにカーソルを合わせ、[戻る]ボタンを押します。

サブメニューが表示されます。

スライドの順番を入れ替えるときはファイル移動を、表示/非表示 を切り替えるときは表示/非表示を選択して[決定]ボタンを押しま す。

ファイル移動を選択したときは手順4に進みます。 表示/非表示を選択したときは手順5に進みます。





カーソルを移動先に合わせ、[決定]ボタンを押します。

シナリオの投写





移動するスライド

移動先を選択する カーソル



プレゼンテーション中の操作

シナリオ再生中は、リモコンで次の操作ができます。

画面切り替え	 FSEファイルの場合 [ページ](送り) / ○・ :次のスライド [ページ](戻し) / ○・ :前のスライド [決定] / ○ :次のスライド、またはオブジェクト ○ :前のスライド、またはオブジェクト SITファイルの場合 [決定] / [ページ](送り) / ○ :次のスライド、または オブジェクト [ページ](戻し) / ○ :前のスライド、またはオブジェ クト
再生の中止	[戻る]ボタンを押すと、「シナリオ再生を終了します か?」とメッセージが表示されます。終了を選択して[決 定]ボタンを押すと終了します。戻るを選択して[決定]ボ タンを押すと再生を続けます。

プロジェクター本体の次の機能はPC Freeでシナリオや画像ファイルを 投写しているときも同様に使えます。

- ●静止● 『取扱説明書』「映像を停止させる(静止)」
- A/Vミュート
 「取扱説明書」「映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)」
- Eズーム☞『取扱説明書』「映像を部分的に拡大する(Eズーム)」

編集が終了したら、画面上部の「編集終了」にカーソルを合わせて、 [決定]ボタンを押します。

編集した内容はUSBストレージがプロジェクターにセットされている間だけ有効です。

シナリオの再生

操作

- **1** PC Freeを起動します。 p.56
 - ファイル一覧画面が表示されます。
- 2) [____][___][]][]][]][]]ボタンを押して、再生するシナリオにカー ソルを合わせます。

[決定]ボタンを押します。
 再生を開始します。



USBストレージ内の画像・動画ファイルやデジタルカメラの画像ファイルをPC Freeで投写するには、次の2通りの方法があります。

- ・選択した画像・動画ファイルの投写
 1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。
- フォルダー内の画像・動画ファイルの順次投写(スライドショー)
 フォルダー内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する 機能です。

注意

動画投写時は頻繁にUSBストレージにアクセスします。そのときにUSBストレージの接続を外さないでください。PC Freeに異常が発生する場合があります。

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、プロジェ クターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

動画・画像を投写する

操作

PC Freeを起動します。 🖝 p.56

2 [
] [
] [
] [
] [
] ボタンを押して、投写する画像ファイル
または動画ファイルにカーソルを合わせます。



[決定]ボタンを押します。

(3)

画像または動画の再生が始まります。



④ 次の操作をすると、ファイル一覧に戻ります。

- •静止画を投写中:[戻る]ボタンを押す。
- 動画を投写中:[戻る]ボタンを押して表示されるメッセージ画面で、終了を選択して[決定]ボタンを押す。

ファイル一覧画面が表示されます。

画像・動画ファイルの投写





フォルダー内のすべての画像・動画ファイルを順番 に投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像・動画ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。

繰り返して投写したり画面切替時の表示に効果をつけるなどの表示 条件を設定できます。スライドショーで動画・画像ファイルを自動 的に切り替えて表示するには、PC Freeのオプションで表示時間設 定を**なし**以外に設定してください。初期設定は**なし**に設定されてい ます。 ● p.63



)PC Freeを起動します。 🖝 p.56

ファイル一覧画面が表示されます。

(2) [(----)](-)](·)]ボタンを押して、スライドショーを実行 するフォルダーにカーソルを合わせ[決定]ボタンを押します。

(3) ファイル一覧画面の下部で「スライドショー」を選択して、[決定] ボタンを押します。

スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像・動画 ファイルが順次1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧画面に戻ります。オ プション画面で繰り返し再生をオンに設定しているときは、最後 まで投写すると最初から投写を繰り返します。 ← p.63

シナリオと同様、スライドショー投写中は次画面に送る、前画面 に戻す、再生を中止することができます。 ←「プレゼンテーショ ン中の操作」p.60

オプション画面で表示時間設定を**なし**に設定している場合、スライ ドショー再生を実行しても自動的にはファイルが切り替わりませ ん。リモコンの[決定]ボタンまたは[ページ]ボタン(送り)を押して、 次のファイルを投写します。



ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定で きます。

操作



ファイル一覧画面下部の「オプション」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。

オプション画面が表示されるので、各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押す と、設定が有効になります。

各項目の詳細は次の表のとおりです。



表示順序設定	表示するファイルの順番を設定します。 ファイル名 順、更新日付順 を昇降順で選択できます。
繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定しま す。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する 時間を設定します。なし(0)~60秒までの設定がで きます。 なし に設定したときは、自動送りは無効と なります。

画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定しま
	す。

③ [____][___][]][]][]]ボタンを押して「OK」にカーソルを合わせ て、[決定]ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、**キャンセル**にカーソルを合わせて、 [決定]ボタンを押します。



シナリオの準備(EasyMP Slide Converterの使い方)

ここでは、PowerPointファイルをシナリオへ変換し、USBストレージに転送する方法を説明します。

シナリオの概要



EasyMP Slide Converterを使って、PowerPointファイルをプロジェク ターが単体で再生できるファイルへ変換します。そのファイルを本書で はシナリオと呼びます。



作成したシナリオは、コンピューターにセットしたUSBストレージに転送します。シナリオを保存したUSBストレージをプロジェクターにセットして、PC Freeで再生します。 ☞ 「シナリオの再生」 p.60

EasyMP Slide Converterはコンピューターにインストールして使います。

EasyMP Slide Converterのインストール方法 🖝 p.12



PowerPointファイルを変換して、プロジェクターが単体で再生できるシ ナリオを作成します。

変換可能なPowerPointファイル

EasyMP Slide Converterでは、Microsoft PowerPoint 2002/2003/2007 で作成されたファイル(拡張子 .ppt / .pps / .pptx)をシナリオに変換で きます。

シナリオ変換の流れ

- シナリオへの変換は、次の流れで行います。
- 1. EasyMP Slide Converterを起動し、PowerPointファイルを選択します。
- 2. 設定画面で保存先、変換モード、使用するプロジェクターの解像度な どを設定して、シナリオに変換します。
- 3. 変換したシナリオ(FSEファイル)をプレビューします。
- コンピューターにセットしたUSBストレージにシナリオをコピーします。
- 5. シナリオにオートラン設定をします。

メイン画面の説明

EasyMP Slide Converterを起動するとメイン画面が表示されます。各 ボタンの働きは以下のとおりです。



	ボタン名	説明
0	変換	クリックするとファイルの選択画面が表示されま す。PowerPointファイルを選択してシナリオに変 換します。 ●「シナリオに変換する」の手順3
2	プレビュー	クリックするとファイルの選択画面が表示されま す。変換したシナリオ(FSEファイル)を選択して、 プレビューします。 ●「シナリオに変換する」の手順6
3	メモリーヘコピー	クリックするとファイルの選択画面が表示されま す。USBストレージにコピーするファイルを選択 して、コピーします。 ●「シナリオに変換する」の手順8
4	オートラン編集	クリックするとオートラン編集画面が表示されま す。オートランの編集をします。 ●「シナリオに変換する」の手順9
6	設定	クリックすると設定画面が表示されます。ファイ ルの保存先、解像度、変換モードなどの設定をし ます。 ●「シナリオに変換する」の手順4

PowerPoint ファイルをシナリオに変換する





設定画面のファイルを変換後、メモリーにコピーするが有効な場 合、各項目の設定を誘導するメッセージが表示されます。表示され たメッセージに従っていくと、各項目の設定を行うことができま す。無効にした場合は、メイン画面から各設定を行います。

シナリオに変換する

ここでは、手順を追ってシナリオに変換する方法について説明します。

操作

 「スタート」 - 「プログラム」(または「すべてのプログラム」) -「EPSON Projector」 - 「EasyMP Slide Converter」の順に選択 します。

EasyMP Slide Converterのメイン画面が表示されます。

- コンピューターにシナリオを保存するUSBストレージをセットします。
- 3 メイン画面の 定 をクリックします。シナリオに変換する PowerPointファイルを選択して、「選択」をクリックします。
- 4) 設定画面が表示されます。以下の表を参照して各項目を入力し、
 「次へ」をクリックします。

定	
ファイル名 Product_001.ppt 保存先 ④ デスクトップ ○ ファイルと同じ場所 ● 指定する	
 支換モード ・ スライドショーを実行して変換を ・ スライドショーを実行せずに変換 ・ 簡易変換を行う スライドショーを実行して変換を行う 	うう を行う れます。変換中は他のアプリケーションの操作ができなくなります。
使用するプロジェクターの解像度 ● XGA(1024×768ドット) ● WXGA(1280×800ドット) ● ファイルを実換後、メモリーにコピー	- 7 δ.
詳細設定 画質 ③ 高画質	○標準
アニメーションの待ち時間 アニメーションが正しく変換できない。 高くすることによって変換時間が長く	場合、次の設定を変更すると再現性が高くなります。ただし、再現性を なります。
短い 標準	
(詳細設定 <	に戻す バージョン情報 次へ キャンセル

ファイル名	選択したPowerPointのファイル名が表示されます。
保存先	シナリオの保存先を選択します。



変換モード	PowerPointファイルの変換方法を選択します。 • スライドショーを実行して変換を行う 変換中にスライドショーが表示され、スライド		バージョン情報	アプリケーションのバージ す。	ョン情報を表示しま
	 ショーを確認しながら変換できます。変換中は 他のアプリケーションの操作はできません。 ファイルは、FSE形式で保存されます。 スライドショーを実行せずに変換を行う 変換中にスライドショーは表示されません。設 定されているスライドの画面切り替え効果は変 換されません。ファイルは、FSE形式で保存されます。 簡易変換を行う JPEGファイルに変換します。設定されている すべてのアニメーションは、変換されません。 ファイルは、SIT形式で保存されます。 		 設定した内容は ボタンをクリッ Windows 2000 変換を行うは選 お使いのコンピ 設定が無く、ス きは、WXGAの PowerPointファ なアニメーショ 変換モードにか り替え効果は変 	 ス、EasyMP Slide Converted クすると変更できます。 では、変換モードのスライト 祝できません。 ユーターの解像度に1280×80 ライドショーを実行して変势 設定は行えません。 イル内の音声や動画、Powe ンなどは変換できません。 かわらず、1枚目のスライド 換できません。 	rのメイン画面の設定 ジョーを実行せずに 00または1280×768の そを行う を選択したと rPoint Game のよう に設定された画面切
使用するプロ ジェクターの解 像度	シナリオを投写するプロジェクターの解像度を 選択します。XGAタイプのプロジェクターでは、 WXGA(1280×800ドット)が設定されたシナリオ を再生できません。		 スライドショー 切り替え効果は タイマーや繰り 換できない場合 	* を実行せずに変換を行う を選び変換できません。 返しが設定されているアニメ があります。アニメーション	ました場合、画面の (ーションは正常に変 ノが正しく変換できな
ファイルを変換 後、メモリーに コピーする	手順を追って変換したいときにチェックマーク を付けます。チェックマークを付けると、ファ イルを変換するたびに設定画面が表示されます。		いときは、待ち • PowerPointファ または目的別ス	時間を長く設定すると、再現 イルに スライドの表示の言 ライドショーが設定されてい	視性が高くなります。 役定がスライド指定、 Nる場合は変換できま
画質	変換するファイルの画質を設定します。 標準に設定すると、高画質と比べてファイルサ イズが小さくなりますが、画質が粗くなります。 高画質を選択することをお勧めします。 変換モードで簡易変換を行うを選択したときは、 画質を設定できません。	5	せん。 確認画面が表示され します。 EasyMP Slide Converter 素語ファイル	1ますので、内容を確認し ™	て「変換」をクリック
アニメーション の待ち時間	変換するファイルのアニメーションの再現性(待ち時間)を設定します。 変換モードで 簡易変換を行う を選択したときは、 待ち時間を設定できません。		(保存先 変換モード 使用するブロジェクターの解像度 画質 アニメーションの待ち時間 変換をするためにディスブレーの解像度	デスクトップ スライドショーを実行して変換を行う X3A(1024×768ドット) 高画質 標準 を変更します。	
詳細設定	詳細設定の表示・非表示を切り替えます。		変換中は画面の設定を変更しないでくだ。 PowerPoint® が起動している場合は、終 この設定で変換しますか?	さい。 アしてから実行してください。	
既定値に戻す	変更した設定を初期値に戻します。 OK をクリッ クすると設定が保存されます。			実換 キャンセル	





- スライドショーを実行して変換を行う場合、画面の解像度を使用 するプロジェクターの解像度(XGAまたはWXGA)に合わせて自動 で変更します。変換後は、元の画面の解像度に戻ります。
- PowerPointが起動していると変換処理が行われません。変換前 に、PowerPointを終了してください。また、変換中にPowerPoint を起動しないでください。
- 変換中に解像度の切り替えや外部モニターとの接続など、画面の 設定を変更しないでください。画面の設定を変更すると、変換が 中止されます。
- 設定画面のファイルを変換後、メモリーにコピーするにチェック マークが付いていないときは、手順6以降の画面は表示されませ ん。メイン画面が表示されますので、メイン画面の各ボタンから シナリオのプレビューやメモリーヘコピーを実行してください。
- (6) 変換が終わるとプレビュー確認画面が表示されますので、「はい」 をクリックします。プレビューをしないときは、「いいえ」をクリッ クして、手順7に進みます。

プレビュー画面が表示されます。各ボタンの機能は以下の表のと おりです。



▶ 再生	プレビューを開始します。また、停止または一 時停止しているシナリオを再開します。 PowerPointファイルのアニメーションが自動的 に再生されないときは、 再生 ボタンを押すとア ニメーションを1つ先に進めることができます。
∎∎ 一時停止	プレビューを一時停止します。アニメーション 再生中に 一時停止 ボタンを押すと、アニメーショ ンを一時停止します。
■ 停止	再生を中止し、先頭のスライドに戻ります。
📢 前のスライド	現在表示しているスライドの1つ前のスライドに 戻ります。
▶ 次のスライド	現在表示しているスライドの1つ先のスライドに 進みます。

プレビューが終わったら、プレビュー画面を閉じてください。



Jpeg(SIT)ファイルはプレビュー機能でプレビューできません。変 換モードで簡易変換を行うを選択したときは、プレビュー確認画面 は表示されずに、コピー確認画面が表示されます。





1	(IIIII)	1
"		◝
	Я	
	v	1ž

コピー先選択画面が表示されます。USBストレージがセットされ ているドライブと、コピー先のフォルダーを選択して「OK」をク リックします。

オートラン設定をするときは、自動再生する。(オートラン設定) をチェックします。

コピー先選択		
Product_001.fs コピー先を選択	e してください。	
コピー先	E:¥	参照
☑ 自動再生す	る。(オートラン設定)	ОК * *У±Л

選択した場所にシナリオが転送されます。

転送が終了すると、以下のどちらかの画面が表示されます。 USBストレージにオートランファイルがない場合:

繰り返し再生確認画面が表示されます。オートランファイルを作 成し、オートランファイルの繰り返し再生設定をオンにする場合 は、はいをクリックします。

オートランファイルを作成し、オートランファイルの繰り返し再 生設定をオフにする場合は、いいえをクリックします。



USBストレージにオートランファイルがある場合:

以下の表を参照して、オートランを設定し、OKをクリックしま す。

オートラン編集		X
	ドライブ 🛫 USBMemory (E) 🛛 🔽 (繰り返し再生	
ファイルリスト	オートランファイルリスト	
Product 001 fse Product 002 fse	PPRODUO"1FSE	+ +
	ОК	キャンセル

ドライブ	オートランファイルを編集するドライブを選択し ます。
繰り返し再生	オートランファイルリストに登録したシナリオの 投写終了後、自動的に最初から投写し直すとき は、 繰り返し再生 にチェックマークを付けます。
ファイルリスト	ドライブ内にあるオートラン設定をしていないシ ナリオの一覧を表示します。シナリオファイルは フォルダー名/ファイル名の形式で表示されます。
オートランファ イルリスト	オートラン設定をしているシナリオの一覧を再生 順で表示します。 ◆ ▼ ボタンをクリックして 再生順を入れ替えることもできます。
+ +	シナリオをオートランファイルに登録したり、削 除したりします。



(10)コンピューターからUSBストレージを取り外します。

取り外す方法は、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。







シナリオを投写するプロジェクターの解像度がXGAタイプのとき は、WXGA(1280×800ドット)が設定されたシナリオを再生できませ ん。PowerPointファイルをXGA(1024×768ドット)用シナリオファ イルに変換してから投写してください。

PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する

PowerPointファイルから直接シナリオへ変換する方法を説明します。

設定内容を変更せずに変換だけをしたい場合に適しています。設定 画面の設定内容が変換時に反映されますので、ファイルを変換後、 メモリーにコピーするを選択していない場合は、あらかじめ設定内 容をご確認ください。

操作



PowerPointファイルのアイコンを、デスクトップ上のEasyMP Slide Converterのプログラムアイコン上へドラッグ&ドロップ します。または、PowerPointファイルを右クリックして、「FSE へ変換する」を選択します。

PowerPointファイルを複数選択してシナリオに変換することはできません。目的のファイルを1つだけ選択します。



EasyMP Slide Converterが起動します。

設定画面で「ファイルを変換後、メモリーにコピーする」を選択している場合は、設定画面が表示されますので、 ☞ 「シナリオに変換する」の手順4に進んでください。

「ファイルを変換後、メモリーにコピーする」を選択していない場合は、実行確認画面が表示されますので、「変換」をクリックして ファイルを変換します。

asyMP Slide Converter		×
変換ファイル 保存先 変換モード 使用するプロジェクターの解像度 画質 アニメーションの待ち時間	Product,001,ppt デスクトップ スライドショーを実行して変換を行う XGA(1024×768ドット) 高画質 標準	
変換をするためにディスブレーの解像 変換中は画面の設定を変更しないでく PowerPoint®が起動している場合は、 この設定で変換しますか?	度を変更します。 ださい。 終了してから実行してください。 変換 キャンセル	,

(2)

シナリオへの変換が始まります。変換モードで**スライドショーを** 実行して変換を行うを選択しているときは、スライドショーが表示されます。

(3)「ファイルを変換後、メモリーにコピーする」を選択していない場合は、変換が終わるとメイン画面が表示されます。 「ファイルを変換後、メモリーにコピーする」を選択している場合は、●「シナリオに変換する」の手順6以降に従ってください。



続いて、シナリオのプレビュー、メモリーへコピー、オートラン 設定などをしてください。 ●「メイン画面の説明」p.66






EasyMP Network Projectionを起動してコンピューターの映像を投写す るときは、以下の制限事項があります。ご確認ください。

対応解像度

投写可能なコンピューターの画面解像度は、次のとおりです。UXGA を超える解像度のコンピューターとは接続できません。

- VGA[▶](640x480)
- SVGA[▶](800x600)[※]
- XGA[▶](1024x768)[※]
- SXGA^(1280x960)
- SXGA(1280x1024)*
- SXGA+(1400x1050)*
- WXGA(1280x768)
- WXGA(1280x800)
- WXGA+(1440x900)
- UXGA(1600x1200)

※マルチスクリーンディスプレー機能時の対応解像度

縦横比が特殊な画面のコンピューターの場合は、前述の対応解像度10 種類のうちから横方向の画素数が一致する解像度で投写されます。 このとき、横長画面では縦方向の余白部分が、縦長画面では横方向の余 白部分が黒く投写されます。

表示色

投写可能なコンピューターの画面の色数は、次のとおりです。

Windows	Macintosh
16ビットカラー	約32000色(16ビット)

Windows	Macintosh
32ビットカラー	約1670万色(32ビット)

マルチスクリーンディスプレーの動作保証は16ビット・32ビットカラー です。

接続台数

1台のコンピューターに、最大4台までのプロジェクターを接続して同時 に映像を投写できます。

複数のコンピューターから1台のプロジェクターに同時に接続すること はできません。

その他

- 無線LANの通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態と なり、予期しないときに切断されることがあります。
- ●音声を転送できるのは1台のプロジェクターに対してのみです。複数 台のプロジェクターに接続しているときは、音声を転送できません。
- ●動画を再生する場合、コンピューター上で再生した場合と比べて、ス ムーズに再生されません。
- DirectXの一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示で きない場合があります。(Windowsのみ)
- MS-DOSプロンプトの全画面表示は投写できません。(Windowsのみ)
- コンピューター上の画面とプロジェクターが投写する画像は完全に一 致しないことがあります。



Windows Vista使用時

Windows Vista搭載のコンピューターでEasyMP Network Projectionを お使いのときは、以下の点にご留意ください。

Windows フォト ギャラリー投写時の制限

EasyMP Network Projectionを起動中にWindows フォト ギャラリーを 起動すると、以下2点の制限があります。

• Windows フォト ギャラリーで、スライドショーを行うとシンプル モードで再生されます。

ツールバーが表示されませんので、Windowsエクスペリエンス イン デックスのスコアに関わらず、再生中にテーマ(効果)の変更はできま せん。

いったんシンプルモードになると、EasyMP Network Projectionを終 了してもWindows フォト ギャラリーを継続している間はモード変更 できません。Windows フォト ギャラリーを再起動してください。

• 動画再生ができません。

Windows Aeroの制限

お使いのコンピューターのウィンドウデザインがWindows Aeroのとき は、以下2点の制限があります。

 EasyMP Network Projectionのオプション設定のレイヤードウィンド ウの転送に関わらずレイヤードウィンドウが投写されます。
 例えば、EasyMP Network Projectionのツールバーはレイヤードウィ ンドウの転送を無効にしていると、コンピューターの画面に表示され ていても投写されないのですが、ツールバーも投写されます。 EasyMP Network Projectionでコンピューターとプロジェクターを ネットワーク接続してから何分かすると以下のメッセージウインドウ が表示されます。

「現在の画面の配色をそのままにして、このメッセージを今後表示し ない」を選択することをお勧めします。この選択はコンピューターを 再起動するまで有効です。





本機のネットワークメニューでセキュリティーをEAP-TLSに設定した ときは、認証用のクライアント証明書とCA証明書をプロジェクターに 登録する必要があります。

クライアント証明書とCA証明書はUSBストレージに保存して、PC Free でプロジェクターに登録します。



 クライアント証明書とCA証明書は、それぞれPFX(.pfx)、 CER(.cer)の拡張子が必要です。

 プロジェクターに登録できるクライアント証明書、CA証明書は1 対のみです。新たに別の電子証明書を登録したときは、上書きさ れます。

クライアント証明書を登録する

操作

- 電子証明書を保存したUSBストレージをプロジェクターに接続して、PC Freeを起動します。
 アイルー覧画面が表示されます。
- 2 リモコンの[へへ][へへ][(・][(・])ボタンを押して、クライアント証明書(PFXファイル)のアイコンにカーソルを合わせ[戻る]ボタンを押します。



③「電子証明書」を選択して、[決定]ボタンを押します。次の画面が 表示されます。



- パスワードをソフトキーボードで入力します。(半角英数32文字以 内)☞ 『取扱説明書』「ソフトキーボードの操作」
- 5 証明書の情報が表示されるので、内容が正しければ「OK」にカーソ ルを合わせて、[決定]ボタンを押します。 「電子証明書の取得に成功しました。」とメッセージが表示された
 - ら、登録の完了です。

(4)

電子証明書をプロジェクターに登録する

TOP

CA証明書を登録する





ファイル一覧画面が表示されます。

(2) リモコンの[<___][<・_)](・)」ボタンを押して、CA証明書 (CERファイル)のアイコンにカーソルを合わせ[戻る]ボタンを押し ます。



「CA証明書」を選択して、[決定]ボタンを押します。

証明書の情報が表示されるので、内容が正しければ「OK」にカーソ ルを合わせて、[決定]ボタンを押します。

「CA証明書の取得に成功しました。再起動を行います。」とメッ セージが表示されたら、登録の完了です。[決定]ボタンを押すと プロジェクターの電源がオフになります。」しばボタンを押してプロ ジェクターを再起動すると、証明書の認証が行われます。認証に 成功したときはIPアドレスが表示されます。

76

困ったときに



まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で 詳細な内容をご覧ください。

ネットワーク機能に関するトラブル

「EasyMP Network Projectionと接続できない」 🖝 p.78

「EasyMP Network Projectionで接続して、映像が投写されたままになって 他のコンピューターから接続できない」 ● p.78

「EasyMP Network Projectionを起動してもプロジェクターが見つからない」 ● p.78

「マニュアルモードまたは有線LANで接続できない」 🖝 p.80

「マルチスクリーンディスプレー機能実行時に、任意のディスプレーへス ライドショーの表示ができない」 ☞ p.80

「マルチスクリーンディスプレー機能実行時に、コンピューターの画面上からアプリケーションが表示されなくなってしまう」 ● p.80

「マウスカーソルがコンピューターの画面上に表示されない」 🖝 p.81

「EasyMP Network Projectionで接続して映像が表示されない、表示が遅い、動画の映像や音が止まる」 p.81

「EasyMP Network Projectionで接続してプロジェクターから音がでない」 ● p.81

「EasyMP Network Projectionで接続して使用しているときにPowerPointの スライドショーが動作しない」 C p.82

「EasyMP Network Projectionで接続してOfficeアプリケーション使用時に 画面が更新されない」 ← p.82

「EasyMP Network Projection実行時のエラーメッセージ」 C p.82

「EasyMP Network Projectionでコンピューターとの接続を切断した後、 ネットワークの設定が回復しない」 ← p.84

PC Freeに関するトラブル

「PC Freeでファイルを再生・表示できない」 🖝 p.85

EasyMP Slide Converterに関するトラブル

「EasyMP Slide Converter実行時のエラーメッセージ」 ● p.85 「PowerPointファイルの右クリックメニューに「FSEへ変換する」が表示 されない」 ● p.86

監視・制御に関するトラブル

「プロジェクターに異常が起きても メールが送られてこない」 (ア.86





ネットワーク機能に関するトラブル

EasyMP Network Projectionと接続できない

画面のメッセージを確認して以下のとおり対処してください。

エラーメッセージ	対処法
お使いのアプリケーションバージョンはサポートされてい ません。最新のアプリケーションをコンピューターにイン ストールしてください。	本製品に同梱品の『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』からEasyMP Network Projectionをインストールして接続してください。

EasyMP Network Projectionで接続して、映像が投写されたままになって他のコンピューターから接続できない

確認	対処法
プレゼンテーションした人がネットワーク接続を切断せず に会議室から出てしまっていませんか?	EasyMP Network Projectionでは、コンピューターとプロジェクターが接続中に別のコンピューターから接続しようとすると、先に接続していたコンピューターとの接続を切断し、後から接続の操作をしたコンピューターと接続できます。
	したがって、プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていないときや、プロジェクター キーワードを知っているときは、接続操作をすれば現在の接続が切断され、プロジェクターと接続でき ます。
	プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていて、プロジェクターキーワードがわからないときは、プロジェクター側を再起動してから再接続します。

EasyMP Network Projectionを起動してもプロジェクターが見つからない

確認	対処法
無線LANユニットがセットされていますか? 無線LANの場合	プロジェクターにオプションの無線LANユニットが確実にセットされているか確認します。
プロジェクター側で環境設定メニュー - ネットワーク設定 画面を表示していませんか?	プロジェクター側でネットワーク設定画面を表示しているときは、EasyMP Network Projectionでのネットワーク接続が無効になります。プロジェクター側でのネットワーク設定を終了して、LAN待機画面に 戻してください。



確認	対処法
コンピューター側のLANカードや内蔵のLAN機能が使用できる状態になっていますか?	コントロールパネル - システム - ハードウエアのデバイスマネージャなどでLANが有効になっているか 確認してください。
SSIDがアクセスポイントのSSIDと同じではありません か? かんたんモードの場合	アクセスポイントのSSIDと異なるSSIDを設定してください。
有線LANのDHCP機能がオンになっていませんか? かんたんモードの場合	環境設定メニューで 有線LAN - DHCP 設定を オフ にしてください。 ● 『取扱説明書』「ネットワークメ ニュー(EB-1925W/1915の場合)」
EasyMP Network Projectionで、使用するネットワークアダ プターを正しく選択しましたか?	お使いのコンピューターが複数のLAN環境を持っている場合は使用するネットワークアダプターを正し く選択していないと接続できません。Windows搭載のコンピューターをお使いのときは、EasyMP Network Projectionを起動し、オプション設定 - LAN切替で使用するネットワークアダプターを選択し てください。 ☞ p.45
無線LAN接続の場合、コンピューターの省電力設定で無線 LANが使用不可の設定になっていませんか?	無線LANを使用可能にしてください。
アクセスポイントおよびコンピューター、プロジェクター の間に障害物がありませんか? 無線LANの場合	電波状況によってはプロジェクターが検索されずに見つからないことがあります。アクセスポイントお よびコンピューター、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれ らの位置を変更してください。
コンピューター側の無線LANの電波が微弱な設定になっていませんか?	電波強度は、できるだけ最大でお使いください。
お使いの無線LANは802.11g、802.11b、または802.11aに 準拠していますか?	802.11g、802.11b、または802.11a以外の規格(802.11など)には対応していません。
ファイアウォールを解除または例外に登録していますか?	ファイアウォールを解除または例外に登録をしたくないときは、ポートを開ける設定をしてください。 EasyMP Network Projectionで使用するポートは3620、3621、3629です。
ネットワークケーブルが正しく接続されていますか? 有線LANの場合	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続されているときは、接続し直します。
プロジェクターの環境設定メニューの無線LANメニューで 無線LAN電源をオフに設定していませんか? 無線LANの場合	環境設定メニューで無線LAN - 無線LAN電源をオンに設定してください。 ●『取扱説明書』「無線LAN メニュー(オプションの無線LANユニット装着時のみ)」



マニュアルモードまたは有線LANで接続できない

確認	対処法
SSIDの設定が異なっていませんか?	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。 ●『取扱説明書』「ネットワークメニュー(EB-1925W/1915の場合)」
同一のWEPキーを設定していますか?	セキュリティーでWEPを選択した場合は、アクセスポイントやコンピューターとプロジェクターを同じWEPキーに設定してください。 ☞『取扱説明書』「ネットワークメニュー(EB-1925W/1915の場合)」
アクセスポイント側でMACアドレス [▶] 制限、ポート制限な どの接続拒否機能を正しく設定していますか?	アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。
アクセスポイントとプロジェクターのIPアドレス、サブネッ トマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていま すか?	DHCPを使用しない場合は各設定を合わせてください。 ☞ 『取扱説明書』「ネットワークメニュー (EB-1925W/1915の場合)」
アクセスポイントとプロジェクターのサブネットが異なっ ていませんか?	EasyMP Network Projectionの指定検索を選択し、IPアドレスを指定して接続してください。 ☞ p.39

マルチスクリーンディスプレー機能実行時に、任意のディスプレーへスライドショーの表示ができない

確認	対処法
PowerPoint2002以前のバージョンをお使いですか? Windowsの場合	<u>仮想ディスプレー ◆を2つ以上設定してお使いになるときは、PowerPoint2003</u> 以降をお使いいただくか、仮想ディスプレーを1つにしてスライドショー表示をしてください。

マルチスクリーンディスプレー機能実行時に、コンピューターの画面上からアプリケーションが表示されなくなってしまう

確認	対処法
他のアプリケーションが <u>仮想ディスプレー</u> ▶上で動作して いませんか? Windowsの場合	EPSON Virtual Displayをインストールした場合、他のアプリケーションが仮想ディスプレー上で動作することがあります。その場合は画面プロパティーからEPSON Virtual Displayを無効にしてください。



マウスカーソルがコンピューターの画面上に表示されない

確認	対処法
EPSON Virtual Displayをインストールしていますか?	<u>仮想ディスプレー</u> →上にマウスカーソルが移動しました。EPSON Virtual Displayの追加と削除の画面で
Windowsの場合	仮想ディスプレーのチェックを外すと、マウスポインターが画面の表示領域内に戻ります。

EasyMP Network Projectionで接続して映像が表示されない、表示が遅い、動画の映像や音が止まる

確認	対処法
Media Playerで動画を再生したり、スクリーンセーバーの プレビューを実行しようとしませんでしたか?	コンピューターによっては、Media Playerによる動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセー バーのプレビューが正常に表示されないことがあります。
WEP暗号化を有効にしたり、複数台のプロジェクターに接続していませんか?	WEP暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。
DHCPを有効にしていませんか?	マニュアルモードまたは有線LAN接続でDHCPを オン に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバーが見つからないと、LANの待機状態になるのに時間がかかります。
動画再生中にEasyMP Network Projectionを起動したり、解 像度や色数を変更しませんでしたか? Macintoshの場合	動画再生するときは、EasyMP Network Projectionを起動してから再生操作をしてください。動画再生中にEasyMP Network Projectionを起動したり、表示画面の解像度や色数を変更した場合は、動画再生ウィンドウを移動する、または最小化し元に戻す等の操作を行ってください。
無線LANが802.11g/bでかんたんモードでお使いではありませんか?	電波の環境によっては動画の映像や音が止まることがあります。動画転送機能をお使いになるときは、 マニュアルモードまたは、無線LANを802.11 a のかんたんモードでお使いください。
推奨スペックに満たないコンピューターをお使いではあり ませんか?	推奨スペックに満たないコンピューターをお使いのときは、動画の映像や音が止まることがあります。 ☞『取扱説明書』「ソフトウェアの動作条件」

EasyMP Network Projectionで接続してプロジェクターから音がでない

確認	対処法
1台のコンピューターから複数台のプロジェクターに接続 していませんか?	音声を転送できるのは1台のプロジェクターに対してのみです。他のプロジェクターとの接続を切断し てください。
オプション設定で音声をコンピューターで出力するように 設定していませんか?	オプション設定の音声出力タブで、 音声をプロジェクターで出力する にチェックします。 🖝 p.46



EasyMP Network Projectionで接続して使用しているときにPowerPointのスライドショーが動作しない

確認	対処法
PowerPointを起動中に、EasyMP Network Projectionを起動 しませんでしたか? Windowsの場合	EasyMP Network Projectionで接続する際は、事前にPowerPointを終了してください。起動したまま接続するとスライドショーが動作しなくなることがあります。

EasyMP Network Projectionで接続してOfficeアプリケーション使用時に画面が更新されない

確認	対処法
マウスを絶えず動かし続けていませんか?	マウスカーソルの移動を止めると画面が更新されます。画面がなかなか更新されない場合は、マウス カーソルの動きを止めてください。

EasyMP Network Projection実行時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
プロジェクターとの接続に失敗しました。	再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。
	プロジェクター側のネットワーク設定について ☞『取扱説明書』「ネットワークメニュー(EB-1925W/ 1915の場合)」
キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、 正しいキーワードを入力してください。	LAN待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行 しますか?	別のコンピューターが接続しているプロジェクターに接続しようとしました。 はいをクリックすると、プロジェクターと接続します。このとき、接続していた別のコンピューターと プロジェクターの接続は切断されます。 いいえをクリックすると、プロジェクターと接続しません。 別のコンピューターとプロジェクターの接続は保持されます。
EasyMP Network Projectionの初期化に失敗しました。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。それでもメッセージが出るときは、EasyMP Network Projectionをいったんアンインストールして、その後もう一度EasyMP Network Projectionをインストールしてください。

困ったときに



エラーメッセージ	対処法
キーワードが間違っていたため接続できませんでした。	プロジェクターキーワードが設定されているプロジェクターへの接続時に、間違ったプロジェクター キーワードを入力しました。 プロジェクターキーワードは、プロジェクターの接続待機画面に表示されていますので確認してくださ い。いったん接続を切断してから、再接続して接続時に表示されるキーワード入力画面で、そのプロ ジェクターキーワードを入力します。
	☞ p.19
ネットワークアダプターの情報取得に失敗しました。	次の点を確認します。 コンピューターにネットワークアダプターが装着されていますか。 コンピューターに、使用するネットワークアダプターのドライバーがインストールされていますか。 確認後、コンピューターを再起動して、もう一度接続の操作を行います。 それでも接続できない場合は、次を確認してください。 コンピューター側のネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。 プロジェクター側のネットワーク設定について ●『取扱説明書』「ネットワークメニュー(EB-1925W/ 1915の場合)」
SXGAを超える解像度をサポートしていないプロジェクター があります。コンピューターの解像度を下げて再接続して ください。	接続先のプロジェクターの中にELP-735があります。コンピューターの画面の解像度を、 SXGA(1280x1024)以下に変更してください。
応答しないプロジェクターが存在します。	複数のプロジェクターに同時に接続しようとしましたが接続できませんでした。コンピューター側の ネットワーク設定とプロジェクター側のネットワーク設定を確認してください。 プロジェクター側のネットワーク設定について ☞『取扱説明書』「ネットワークメニュー(EB-1925W/ 1915の場合)」
プロジェクターに表示されたキーワードを入力してください。	LAN待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを 入力してください。
USB Displayが起動しているため、本アプリケーションは 起動できません。	USBディスプレーを終了してからEasyMP Network Projectionを起動してください。
ご使用のEasyMP Network Projectionのバージョンではプロ ジェクターに接続できません。最新のEasyMP Network Projectionをインストールしてください。	EMP NS Connectionで本機と接続したときに表示されるメッセージです。本機に同梱の『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』からEasyMP Network Projectionをインストールして接続してください。



エラーメッセージ	対処法
プロジェクターから音声を出力するには、PowerPoint、またはWindows Media Playerなどを再起動してください。	お使いのコンピューターでPowerPointや、Windows Media Playerなどのメディアプレーヤーが起動中 に以下の操作を行ったときは、PowerPointまたはメディアプレーヤーを再起動するとプロジェクターか ら音声が出力されます。
	• EasyMP Network Projectionで本機と接続する (オプション設定 - 音声出力タブで音声をプロジェクター で出力するにチェックをしている場合)
	• オフジョン設定 - 首声出力ダブで首声をプロジェクターで出力するにナエックする、または既定個に 戻すをクリックする
コンピューターから音声を出力するには、PowerPoint、またはWindows Media Playerなどを再起動してください。	お使いのコンピューターでPowerPointや、Windows Media Playerなどのメディアプレーヤーが起動中 に以下の操作を行ったときは、PowerPointまたはメディアプレーヤーを再起動するとコンピューターか ら音声が出力されます。
	 EasyMP Network Projectionで本機と接続する (オプション設定 - 音声出力タブで音声をプロジェクター で出力するからチェックを外している場合) オプション設定 - 音声出力タブで音声をプロジェクターで出力するからチェックを外す
音声出力を有効にするためには、再起動する必要がありま す。すぐ再起動するには「はい」を、後で再起動するには「い いえ」を選択してください。	音声をプロジェクターに転送して再生するときは、はいを選択してコンピューターを再起動してください。
クイックワイヤレスが起動しているため、本アプリケーションは起動できません。	クイックワイヤレスを終了してからEasyMP Network Projectionを起動してください。

EasyMP Network Projectionでコンピューターとの接続を切断した後、ネットワークの設定が回復しない

確認	対処法
コンピューター起動時に手動で無線LANに接続していますか? かんたんモードの場合	手動で無線LANに接続してください。



PC Freeに関するトラブル

PC Freeでファイルを再生・表示できない

確認	対処法
PC Freeで再生できないファイル形式のファイルを再生しようとしていませんか?	ファイル形式によっては、PC Freeで再生できません。PC Freeで再生できるファイルの仕様は ●「PC Freeで投写できるファイルと保存の方法」でご確認ください。
セキュリティー機能が付いたUSBストレージをお使いですか?	セキュリティー機能が付いたUSBストレージは、本機では使用できないことがあります。
USBハードディスクやUSBカードリーダーをお使いです か?	市販のUSBハードディスクやUSBカードリーダーには、本機で使用できないものがあります。

EasyMP Slide Converterに関するトラブル

EasyMP Slide Converter実行時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処法
ご使用のOSのバージョンでは使用できません。必要なバージョンアップを行なってください。	ご使用のOSにはEasyMP Slide Converterをインストールできません。サポートしているOSにインストールしてください。 ☞ 『取扱説明書』「ソフトウェアの動作条件」
EasyMP Slide Converter を使用するには PowerPoint® 2002 以降がインストールされている必要があります。	PowerPoint 2002以降をインストールしてから、EasyMP Slide Converterを再インストールして下さい。 ● p.12
PowerPoint® を終了してから実行してください。	PowerPointを起動していると変換処理が正常に完了しないことがあります。PowerPointを終了してから、変換してください。
指定された場所にファイルを保存することができません。 別の場所を指定して再度実行してください。	指定されたフォルダーの書き込み権限が無いなどの理由でファイルを保存できない場合があります。別 の場所を指定して再度実行してください。
指定された場所にファイルをコピーできませんでした。別 の場所を指定して再度実行してください。	
指定された場所の空き容量が不足しています。別の場所を 指定して再度実行してください。	ファイルを保存するドライブの空き容量が不足しており、ファイルを保存できません。不要なファイル を削除して、ファイルを保存できるようにドライブの空き容量を確保してください。
指定されたドライブの空き容量が不足しているためコピー できません。	シナリオ転送先ドライブの空き容量が不足しており、シナリオを転送できません。不要なファイルを削 除して、シナリオファイルを転送できるように転送先ドライブの空き容量を確保してください。



エラーメッセージ	対処法
指定された場所の空き容量が不足しているためファイルを 書き出すことができません。	オートラン設定時のファイルの指定先の空き容量が不足しているため、ファイルを書き出すことができません。不要なファイルを削除して、ファイルを書き出せるように空き容量を確保してください。

PowerPointファイルの右クリックメニューに「FSEへ変換する」が表示されない

確認	対処法
EasyMP Slide Converterのインストール後にPowerPointを インストールしませんでしたか?	EasyMP Slide Converterのインストール後にPowerPointをインストールすると、メニューが表示されな くなることがあります。EasyMP Slide Converterを再インストールして下さい。

監視・制御に関するトラブル

プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

確認	対処法
無線LANユニットがセットされていますか?	プロジェクターにオプションの無線LANユニットが確実にセットされているか確認します。
無線LANO場合	
ネットワークに接続するための設定は正しいですか?	プロジェクターのネットワークの設定を確認してください。
待機モード をネットワーク有効に設定していますか?	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの 待機モード をネットワーク有効に設定します。 ● 『取扱説明書』「拡張設定メニュー」
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止 状態になっていませんか。	瞬時に起動停止した場合はメール送信できません。 プロジェクターを確認しても異常状態が復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービ スコールセンターに修理を依頼してください。 ☞ 『お問い合わせ先』
プロジェクターに電源が供給されていますか?	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコン セントのブレーカーが切れていないか確認してください。
ネットワークケーブルが正しく接続されていますか? 有線LANの場合	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続さ れている場合は、接続し直します。



本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

DPOF	Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した写真をプリントするための情報(プリントしたい写真とその枚数の指 定など)を、メモリーカードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。
MACアドレス	Media Access Controlアドレスの略です。MACアドレスはネットワークアダプターごとの固有のID番号です。すべてのネットワー クアダプターは1つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプター間の送受信が行われます。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
アドホック	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行なう方式です。同時に2台以上の機器と通信することはできません。
仮想ディスプレー	1台のコンピューターから複数台のディスプレーに画面出力を行います。複数台のディスプレーを使って仮想的な大画面を実現し ます。

一般のご注意



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な 点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお 願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかね ますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または 消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負い かねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防 犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必 要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および 安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、シス テム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくよう お願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機 器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用 を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様にお いて十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国 以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの 形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めくだ さい。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることが あります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使 用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

Windows Vista および Windowsロゴは米国Microsoft Corporation及びその関連会社の商標です。

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または 登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Inc.の商標です。

Windows、WindowsNT、Windows Vista、PowerPointは米国マイクロソフト コーポレーションの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これ を十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について

本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを 利用しています。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2009. All rights reserved.





数字・アルファベット

asf		54
DIIIP CA証明書		04 76
DPOF		54
EasyMP Network Projection		15
EasyMP Slide Converter		64
EPSON Virtual Displayの追加と削	除	
	13,	31
ISE ESEへ 亦協すろ		54
FSE を接する		54
ina		54
」。 LAN切替		46
mp4		54
mpg		54
mrk		54
PC Free		53
png		54
SIL SNMD		54 52
SNMF		22
Web制御		49
Webブラウザー		49
wmv		54

ア

アニメーションの待ち時間	68
暗号化通信を行う	45
一般設定	45
インポート	43
上へ戻る	58
エクスポート	43

オートランファイルリスト	70
オートラン編集	66
おすすめインストール	13
オプション(PC Free)	63
オプション設定(EasyMP Network	
Projection) 21,	45
音声出力	46
音声をプロジェクターで出力する	47

カ

而好	60
	00
リスダムイノストール	13
仮想ディスプレー	31
画面切替効果	63
画面のプロパティ	32
画面プリビュー	23
当出 シレビュー	16
起動時に接続モート選択画面を衣示9	6
	45
起動時の検索方法	45
クライアント証明書	75
繰り返し再生(FasyMP Network	
	20
	28
繰り返し冉生(EasyMP Slide Converter	-)
	70
繰り返し再牛(PC Free)	63
□ [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]	13
ロロ区八	70
	10
困ったときに	77

サ

指定検索	 21,	39
自動検索	 	21

シナリオ編集 詳細設定	59 68
使用するプロジェクターの解像度	68
信号強度	22
ステータス	21
スライドショー	62
制限事項	73
全画面動画転送を使う	45
操作対象プロジェクターの選択	22

ツールバー22ディスプレイをミラーリング34ディスプレー22ディスプレーの環境設定33ディスプレーのプロパティー32電子証明書75動画再生モード27ドライブ70ドライブの選択57トラブルシュート21

Л

夕

パフォーマンス調整	46
表示時間設定	63
表示順序設定	63
表示/非表示	59
ファイル一覧画面	56
ファイル移動	59
ファイルリスト	70
ファイルを変換後、メモリーにコピー	đ
a	68
フォルダー作成	43



複製	43
プレゼンテーションモード	26
プレビュー6	6, 69
プロジェクター制御	23
プロファイル 2	22, 40
プロファイルに保存 2	21, 40
プロファイル編集 4	2, 46
変換モード	68
編集終了	60
保存先	67

マ

マニュアルモード 16, 17, 19 マルチスクリーンディスプレー
コホシ史 メイン画面(EasyMP Slide Converter) 66
メール通知機能 51

ラ

リストのクリア	22
リストの更新	22
レイヤードウィンドウの転送	46

ワ

割り込み接続を禁止する 21